

取扱説明書



お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は大切に保管しておいてください。弊社サポートセンターにお問い合わせの際には製品背面のラベルに記載されております製品型番とシリアル番号をお確かめください。

***Built-in* DVD**



品名：DVDプレーヤー内蔵 32V型 地上波デジタルハイビジョン液晶テレビ

室内・家庭用

型番：**FT-A3235DB**

この度は弊社製品の液晶テレビをお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこちらの取扱説明書を必ずお読みいただき、内容を十分理解された上で正しくご使用ください。
特に「はじめに」の「安全上のご注意」「知っておいていただきたいこと」は、液晶テレビをご使用前に必ずお読みになり正しくお使いください。

・お読みになられた後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

This television receiver is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.

・保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」等、必要項目の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。

必ず最初にお読みください

安全上のご注意 4-6

知っておいていただきたいこと 7

ご使用前に

付属品 8

スタンドの組み立て方 8

各部の名称 9

リモコンの操作 10-11

miniB-CASカードを挿入する 12

アンテナ・電源の接続 13

テレビをみる

デジタル放送の視聴 14-15

ハードディスクを接続する

本体とUSBハードディスク接続する 16

ハードディスクの初期化 17

HDD 録画の注意事項 17

録画・予約・再生する

直接録画（視聴中の番組を録画する） 18

録画予約（番組表から録画する番組を選択する） 18

予約した番組の確認方法 18

録画予約ができない場合 18

録画の停止 18

録画リストの確認と削除 19

予約リストの確認と削除 19

録画した番組の設定を変える 19

録画した番組を見る 20

再生時のリモコン操作 20

ハードディスクの取り外し方 20

USBメモリの再生

USBメモリの接続 21

入力切替 21

メディア/ファイルについて 21

再生ファイルの選択 22

画像ファイルの再生 23

音楽ファイルの再生 24

動画ファイルの再生 25

DVD/CDディスクについて

再生できるディスクについて 26

再生できないディスクについて 26

再生時のご注意 26

リージョンコードについて 30

DVDに表示されるマークについて 30

DVDの再生

基本操作 28-29

CDの再生

..... 30

機能設定

機能設定ページ 31

画面設定 31

音声設定 32

時刻設定 32

機器設定 33

その他

ハードディスク（HDD）などの記録メディア 33

外部機器との接続

接続方法 34

スピーカーやイヤホン・ヘッドホンを接続する 34

HDMI対応機器を接続する 35

AV機器を接続する 35

パソコンを接続する 35

故障かも…と思ったら

..... 36-37

アフターサービス

アフターサービスについて 38

個人情報の取扱いについて 38

製品仕様

..... 39

安全上のご注意

必ず最初にお読みください


P4

必ず最初にお読みください

ご使用前にこの「安全上のご注意」を必ずよくお読みいただき、製品を安全に正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と図記号は次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。この「安全上のご注意」が守られていない場合は、保証致しかねます。


 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されることを示します。


 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されることを示します。

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。


 この記号は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。


 この記号は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 この記号は注意を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告


異常や故障のおそれがあるとき

 煙が出たり、変なおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにご連絡ください。

 内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターに点検をご依頼ください。

 電源コードや電源プラグが損傷したり、発熱したりしたときは、ただちに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターに点検をご依頼ください。

 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターに交換をご依頼ください。

安全上のご注意

 引っ越しなどで、遠くへ運ぶときは、本機の梱包箱および包装シート・袋をご用意ください。
厳守

 ふだん使用しないときは必ず、電源スイッチを切っておくこと。
厳守

 長時間使用しないときは機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用すること。
厳守

設置するとき



ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。
本機が落ちて、けがの原因となります。



上に物を置かないこと。金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が入っていた場合、火災・感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

使用するとき



修理・改造・分解をしないこと。火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



雷が鳴りだしたら、本機、アンテナ線や電源コードに触れないこと。
感電の原因となります。



電源コードは
・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。
・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと。
・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。
火災・感電の原因となります。電源コードが損傷した場合は弊社サポートセンターへ交換をご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。
感電の原因となります。



電源コードを熱器具に近づけないこと。
ビニールの被覆が溶けて、火災、感電の原因となります。



電源のプラグを抜く際には、電源コードを引っ張らないこと。
電源コードが損傷し、火災、感電の原因となります。



テレビの裏蓋をはずしたり、改造や分解をしないこと。
テレビ内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因になります。



B-CASカードの抜き差しについて
デジタル放送は著作権保護のためB-CASカードを挿入していないとスクランブルがかかり視聴することができません。B-CASカードは必要のない限り、抜かないでください。B-CASカードにはICチップが内蔵されていますので、折り曲げたり、衝撃を与えたり、端子部に触れたりしないようにしてください。B-CASカードは正しい向きでしっかりと挿入してください。

お手入れに関して



電源コードのプラグの付近にはほこりやゴミが付着している場合は、電源のプラグを抜き、乾いた布で取り除くこと。
電源プラグの絶縁低下により、火災・感電の原因となります。



キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
・よごれがひどいときは、布をうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
・ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
・殺虫剤など、揮発性のものを使用しないでください。
・ゴムやビニール製品などを長い時間接触させたままにしないでください。プラスチックに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
ステッカーやテープなどを貼らないでください。
・キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。



製品本体および添付品破棄の場合
家電リサイクル法では、ご使用済みの液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められます。
添付品の廃棄については、各自治体の条例または規則に従ってください。
B-CASカードは(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズまで返却してください。
お客様で破棄される際は必ずカード裏面の金色のICチップの部分にハサミを入れて切断して下さい。

⚠ 注意

設置するとき



温度の高い場所に置かないこと。
直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となります。
また破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。



湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



風通しの悪い場所に置かない、通気口をふさがないこと。
・壁に押しつけないでください。
・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。
・あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。



移動させる場合は、電源プラグなどの外部との接続コードを外すこと。
電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどを外さずに運ぶと、転倒し、けがの原因となることがあります。



アンテナ工事は、技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。
送配電線の近くに設置すると、アンテナが倒れた時に感電の原因となります。

使用するとき



タコ足配線をしないこと。
火災、感電の原因になることがあります。



電源コードのプラグはゆるみのあるコンセントに接続しないこと。
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。



移動するときは、接続コード類をすべてはずすこと。
接続コード類をはずさずに移動させると、電源コードが傷つき、火災、感電、けがの原因となることがあります。



旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけないこと。
火災・感電の原因となります。



スタンドの下にものを置かないこと。
スタンドの下にものを置いた場合、転倒しやすくなり、液晶パネルが割れたり、故障の原因となることがあります。



液晶画面をたたくなどの衝撃を与えないこと。また、硬いもの、先の尖ったものを押し当てないこと。
液晶パネルが割れて、火災、感電の原因になることがあります。



リモコンに使用している電池は
・指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないこと。
・極性(+)(-)を間違えて挿入しないこと。
・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてたりしないこと。
・電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った電池をリモコンに入れたまま放置しないこと。
これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください

知っておいていただきたいこと

本体が熱くなる場合があります

長時間使用すると、熱を逃がすために本体が熱くなる場合があります。ご注意ください。

国外では使用できません

この製品が使用できるのは日本国内だけです。国外では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

液晶パネルのドット欠けについて

液晶パネルは、その製造過程において画素にいくつかの欠けが出る場合があります。液晶パネル上に黒点(点灯しない点)または白点(点灯したままの点)などのドット欠けが見られる場合がありますが、これは液晶パネルの製造上、回避できない現象であり、欠陥品ではございません。このようなドット欠けにつきましては返品や修理の対象外となりますのであらかじめご了承ください。

電磁波妨害にご注意ください

製品の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生することがあります。

画面の焼き付きについて

静止画など長時間同じ画面を表示し続けたり、画面比率 4 : 3 で長時間ご覧になったりすると、液晶パネルに焼き付きが生じることがありますのでご注意ください。視聴時にはフルスクリーンでのご視聴をお勧めします。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

ご使用になる部屋(場所)の温度が低温の場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが故障ではありません。常温に戻れば回復します。

低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因になります。
(温度: 0~40℃(結露なきこと)/ 相対湿度: 20~80%(結露なきこと))

結露(露付き)について

結露(露付き)はこんなときにおきます。

- ・ 本機を寒いところから、急に暖かいところへ移動したとき
- ・ 暖房を入れ始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
- ・ 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから、急に温度・湿度の高いところへ移動して使用したとき
- ・ 湯気が立ち込めるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、部品を傷めることがあります。

本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまります。2~3時間十分に乾燥させてください。また、コンセントに接続しておくと結露が生じにくくなります。

別売(市販品)の録画用ハードディスクについて

別売の録画用ハードディスクの取り扱いについて

- ・ 設置する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
- ・ USB端子部に、ゴミやほこりといった異物を付着させないでください。
- ・ 落としたり、衝撃を与えないでください。液体をかけないでください。
- ・ 廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

録画した番組について

ハードディスクに保存した番組は、誤操作や製品の故障、磁気や電波妨害、また温度や湿度の影響によって消失する可能性があります。

録画した番組が消失したことによる損害(二次的損害を含む)については弊社では責任を負いかねます。

付属品／スタンドの組み立てかた

本製品をお使いになる前に、付属品を確認してください

P8

ご使用の前に



付属品をご確認ください。

本製品をお取り扱いになる前に、以下のものが全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損しているものがある場合はお買い上げ店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

取扱説明書 (本書)



リモコン (RM-5A4)

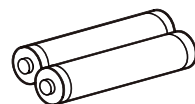


B-CASカード

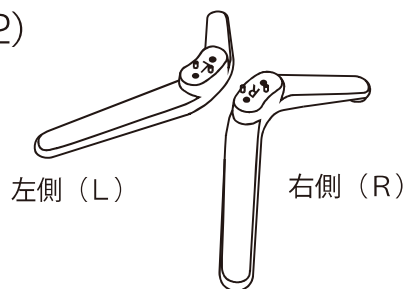
※台紙から外してご使用ください。
※カードのID番号は大切に保管してください。



リモコン用乾電池 (2)
(単4形・動作確認用)



スタンド (2)



保証書



スタンド取付用ネジ (4)

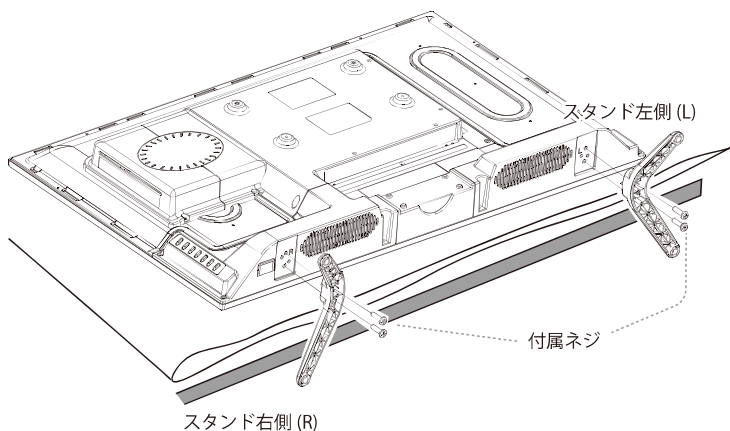


スタンドの組み立てかた

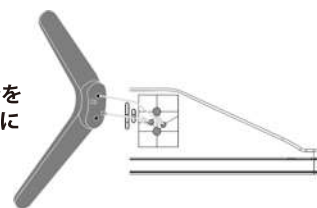
本体の底部の取付位置とスタンドを合わせてスタンド裏側から4箇所ネジでとめる

1. テーブルなどの台の上に毛布などの布を敷き (液晶画面保護のため)、その上に液晶画面を下向きにして本体を置きます。

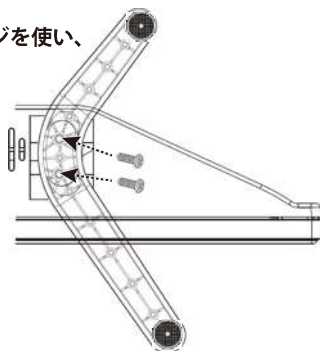
台の縁に本体の底を合わせてテレビを置いてください。



2. スタンド上部の凹部分を本体底面の取り付け部分にはめ込みます。



3. 本体底面から付属ネジを使い、しっかりと固定します。



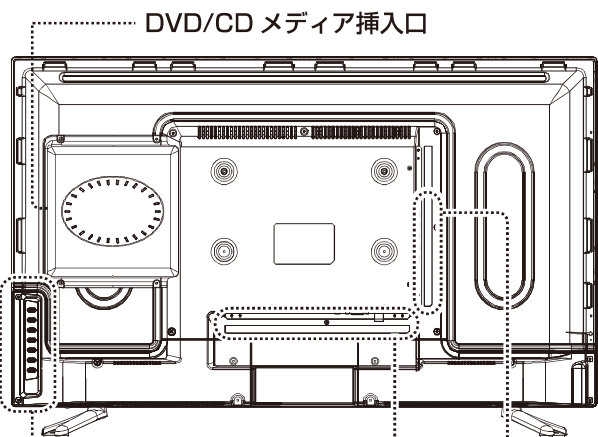
本製品は VESA マウント規格 (200mm×100mm) に対応しております。

(※ ネジ穴は M5×10mm)

- ※別売のディスプレイ・TV壁掛けVESA金具 (市販品) をご用意ください。
- ※壁掛けでのご使用になる場合はスタンドは必要ありません。
- ※必ず専門の業者にご依頼ください。

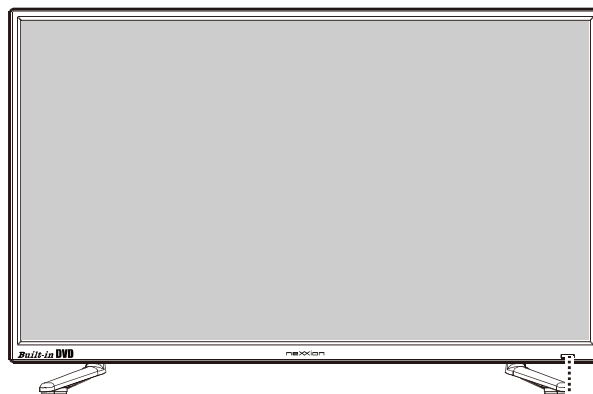
各部の名称

<背面>



DVD/CD メディア挿入口

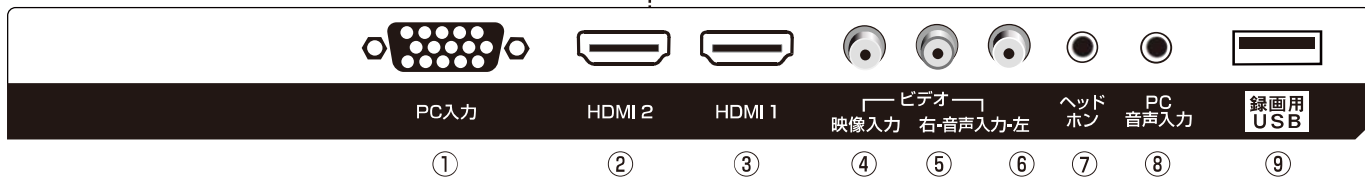
<正面>



電源ランプ／電源がオンのときは緑色に点灯します
電源がスタンバイ状態のときは赤色に点灯します
テレビ番組録画中は、緑色と赤色が交互に点滅します
また、こちらでリモコンの信号も受信します
※リモコンは受光部に向けて操作してください
また、受光部近くに遮へい物を置かないでください

チャンネルハボタン
チャンネルVボタン
音量+ボタン
音量-ボタン
決定ボタン
入力切換などの決定をおこないます
入力切換ボタン
チャンネルボタンでTV、PC、HDMI、AV、USBの入力切換をおこないます
電源ボタン
電源のオンとスタンバイを切り換えます

アンテナ入力端子／アンテナ線(市販品)で壁などのアンテナ端子と接続します
再生用USBメモリ入力端子
USBメモリに記録された画像や音楽、動画を再生します
mini B-CAS カード挿入口
※カードの向きにご注意ください

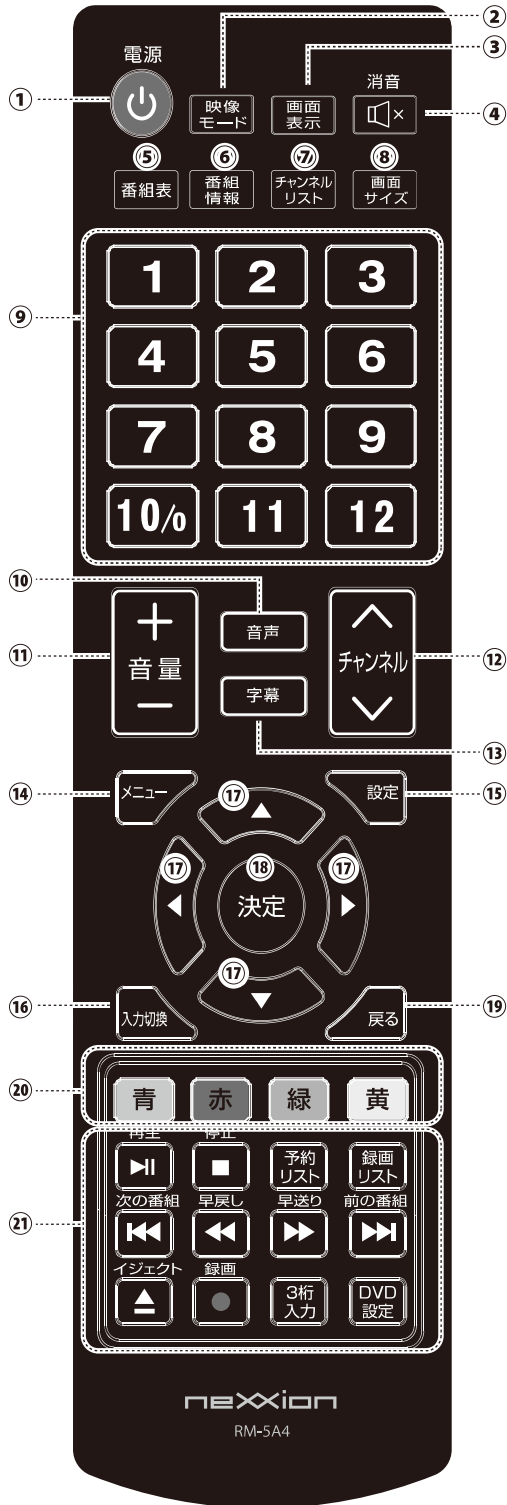


- ①PC 入力端子：VGAケーブル（市販品）でパソコンを接続します
- ②③HDMI2・HDMI1 入力端子：HDMI ケーブル（市販品）を接続します
- ④ビデオ映像入力端子：AV ケーブル（市販品）を接続します
- ⑤⑥ビデオ音声入力端子：AV ケーブル（市販品）を接続します
- ⑦ヘッドホン・音声出力端子：イヤホン/ヘッドホン（市販品）を接続します
- ⑧PC 音声入力端子：パソコンの音声出力を接続します
- ⑨録画用USB 端子：外付ハードディスクドライブ（市販品）を接続します

リモコンの操作

P10

ご使用の前に



- ① **電源** / テレビの電源のオン/スタンバイに使用します
- ② **映像モード** / 標準・柔らかい・ユーザー・ダイナミックの4種類の画質を選択できます
- ③ **画面表示** / 視聴中のチャンネル情報を表示します
- ④ **消音** / 音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します
- ⑤ **番組表** / 登録されたチャンネルの番組表を表示します
- ⑥ **番組情報** / 視聴中の番組情報または番組表で選択した番組情報を表示します
- ⑦ **チャンネルリスト** / 登録されたチャンネルリストを表示し、選局することができます
- ⑧ **画面サイズ** / 画面の表示サイズ(縦横比等)を切り換えます
- ⑨ **数字ボタン** / 各番号に割り当てられたチャンネルに切り換え、または視聴するチャンネルの直接入力にも使用します
- ⑩ **音声** / 視聴中の音声情報を表示し、切り換えます
- ⑪ **音量+** / 音量を調整に使用します
- ⑫ **チャンネルH・V** / チャンネルの切り換えに使用します
- ⑬ **字幕** / 受信している番組が字幕放送の場合、字幕を表示します
- ⑭ **メニュー** / テレビのメニューを表示します
DVD切換時にはDVDに入っているメニューを表示します
※表示内容は再生するディスクによって異なります
- ⑮ **設定** / 機能の設定を行います
- ⑯ **入力切換** / TV(テレビ放送受信)・DVD・PC(VGA入力)・HDMI1・HDMI2・AV(ビデオ)・USB(USBメモリ再生)の切り換えを行います
- ⑰ **▶・◀・▲・▼** / 画面上の項目を選択します
- ⑱ **決定** / 選択内容を決定します
- ⑲ **戻る** / 表示されているメニューリスト、設定画面などを1つ前の画面に戻すことができます
- ⑳ **カラーボタン(青、赤、緑、黄)** /
録画リストや予約リスト、電子番組表等で、割り当てられている操作の実行に使用します

⑳ DVD・HDD・USBメモリ再生操作ボタン

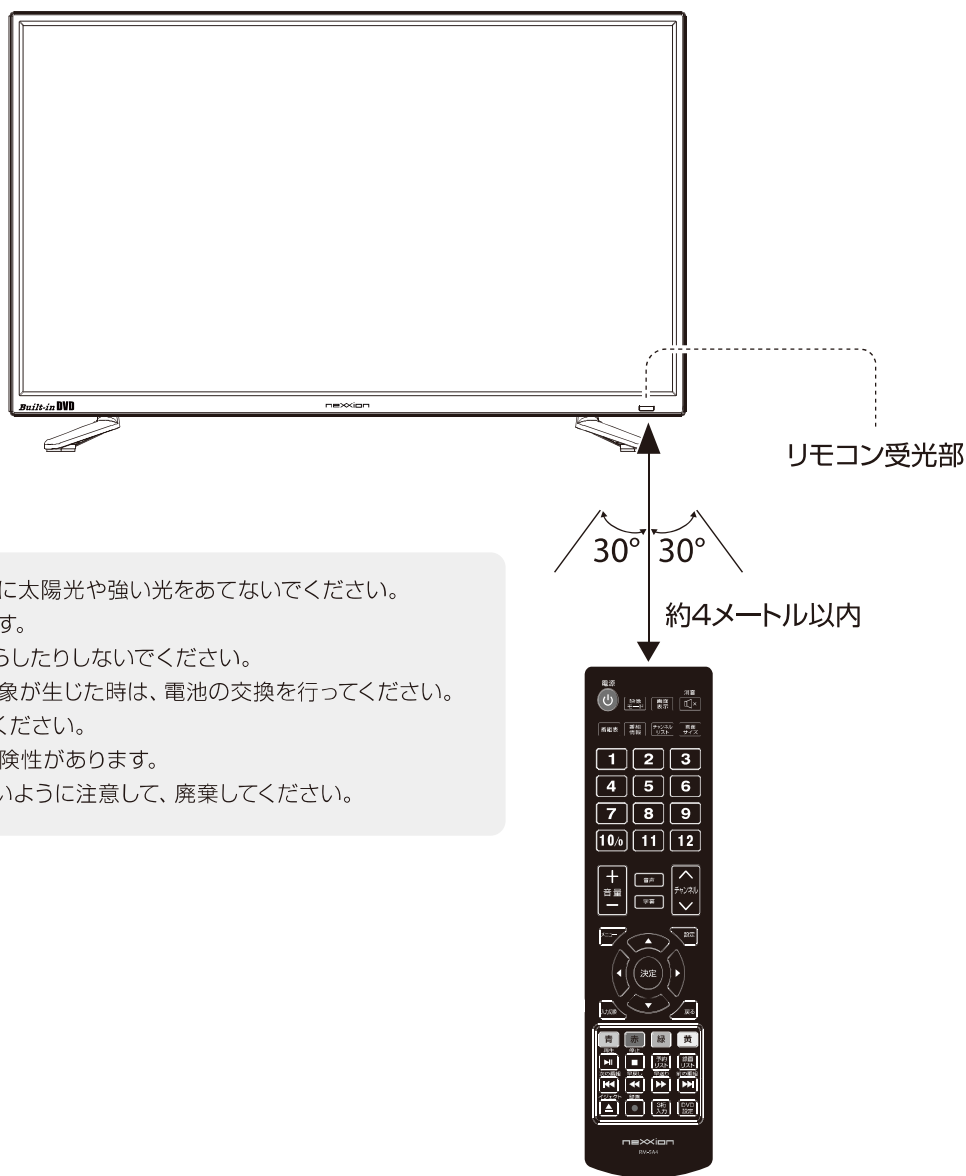
- 再生** **再生・一時停止** / 録画した番組、USBメモリ内のファイルの再生と一時停止をします
- 停止** **停止** / 録画した番組の再生の停止、録画の停止をします
USBメモリ内ファイル再生を停止します
- 予約リスト** **予約リスト** / 予約した番組録画のリストを表示します
- 録画リスト** **録画リスト** / 番組録画したリストを表示します
- 次の番組** **次の番組(録画再生)** / 録画した番組再生中に次の番組タイトルに移動します
◀◀ (USBメモリ再生) / USBメモリ内のファイルの再生時には一つ前のファイルを再生します
◀◀ (DVD再生) / DVD再生時には一つ前のチャプターを再生します

- 早戻し** **早戻し** / 録画した番組の再生中に早戻しします
- 早送り** **早送り** / 録画した番組の再生中に早送りします
- 前の番組** **前の番組(録画再生)** / 録画した番組再生中に前の番組タイトルに移動します
▶▶ (USBメモリ再生) / USBメモリ内のファイルの再生時には次のファイルを再生します
▶▶ (DVD再生) / DVD再生時には一つ前のチャプターを再生します

- イジェクト** **イジェクト** / DVDディスクを取り出します
- 録画** **録画** / 視聴中の番組の録画を始めます
- 3桁入力** **3桁入力** / チャンネル固有の番号を入力して、チャンネルを選択する時に使用します
- DVD設定** **DVD設定** / DVDの設定時に使用します

リモコンの使用法

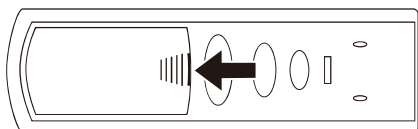
リモコン使用時はリモコン赤外線送信部を本体フロントパネルの受光部へ向けてください。
受信角度は約左右30°/上下15° 距離は4メートル以内です。



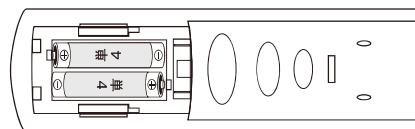
- ※フロントパネルの赤外線受光部に太陽光や強い光をあてないでください。
正常に動作しない場合があります。
- ※故意にリモコンを落としたり濡らしたりしないでください。
- ※使用中にリモコンが効かない現象が生じた時は、電池の交換を行ってください。
- ※電池が切れたらすぐに交換してください。
そのまま放置すると液漏れの危険性があります。
- ※液漏れした場合は、液に触れないように注意して、廃棄してください。

リモコンの電池の交換方法

- 1 リモコンの裏にある電池入れのふたを押して矢印の方向にスライドさせます。



- 2 +の向きに注意して電池を入れます。その後ふたを戻してください。



- ※リモコンには単四形電池2本が必要です。
- ※付属のリモコン用電池はテスト用です。早めに新品と交換してください。

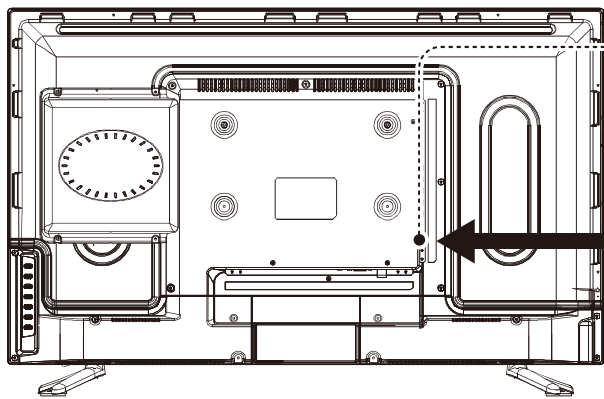
miniB-CAS カードを挿入する

■デジタル放送の受信には、本機へmini B-CAS カード(付属)の常時挿入が必要です。
本機にmini B-CAS を挿入されていない場合は、デジタル放送の視聴はできません。

P12

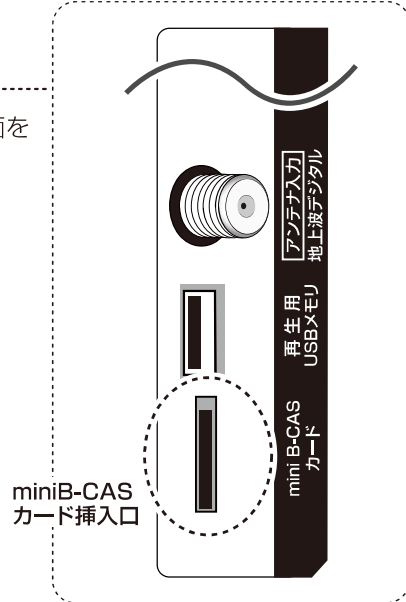
挿入の方法

- 1 miniB-CAS カードを、端子側が前方(モニター側)へ向くようにし、「カチッ」と音がするまで本体背面のminiB-CAS カードスロットへまっすぐ押し込んでください。
- 2 miniB-CAS カードを取り出す際は、カードの中央部を押し、まっすぐ引き出してください。



本体裏側から見てラベル面を
表にして挿入してください

miniB-CASカード
挿入口へ



mini B-CASカード取り扱い上のご注意

- ※電源プラグが接続されていない状態で行ってください。
- ※miniB-CASカードの挿入/取出しをする時、急に指を離さないでください。
- ※破損させないでください。
 - ・金属端子部分には手を触れないでください。
 - ・重いものを乗せたり、踏みつけたりしないでください。
 - ・水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。
- ※地上デジタル放送を視聴中にminiB-CASカードを抜き差しすると故障の原因になるのでおやめください。
- ※表裏、および挿入方向をよく確認して挿入してください。挿入方向を間違えると地上デジタル放送は視聴できません。
- ※mini B-CASカードを抜くときは、電源プラグを抜き、ゆっくりと引き出してください。
- ※miniB-CASカードスロットには、miniB-CASカード以外は絶対に挿入しないでください。

mini B-CASカードについて

- ※地上デジタル放送は著作権保護のため B-CAS カードを挿入していないとスクランブルがかかっていて視聴することができません。
- ※カード裏面の記述は実物と異なる場合があります。
- ※同封の「B-CASカード使用承諾約款」の内容を読み了承された上で台紙から B-CAS カードを取り外してください。
- ※B-CAS 用ユーザー登録はがき台紙の内容や B-CAS カードに関する質問など不明な点がある場合は B-CAS カスタマーセンター
TEL : 0570-000 -261 (IP 電話からは 045 -680 -2868) へお問い合わせください。
- ※B-CAS は(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略です。

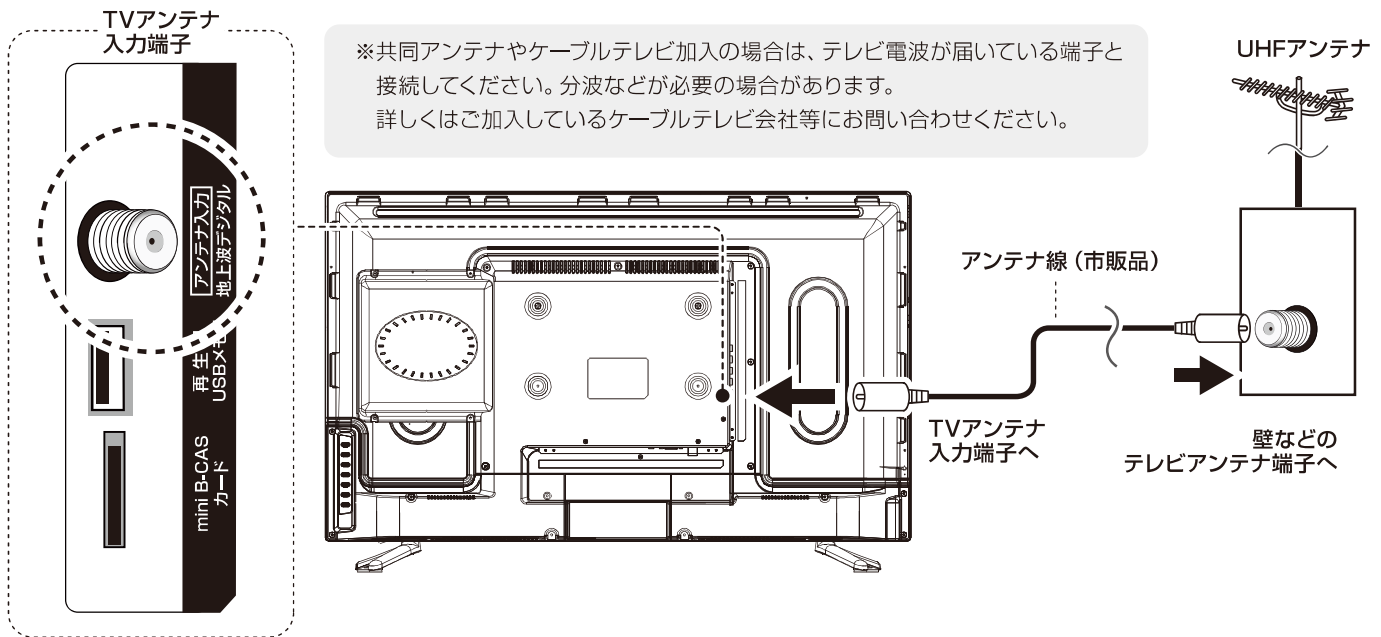
地上デジタル放送が受信できないと思ったら…

- ① 地上デジタル放送の受信エリア内であること
- ② 地上デジタル放送を受信できる適切なアンテナがあること
- ③ B-CASカードが正しく挿入されていることをご確認ください。

アンテナ・電源の接続

アンテナと本体をつなぐ

アンテナ線(同軸ケーブル)で壁などのアンテナ端子と本体のアンテナ入力端子を接続します。



P13

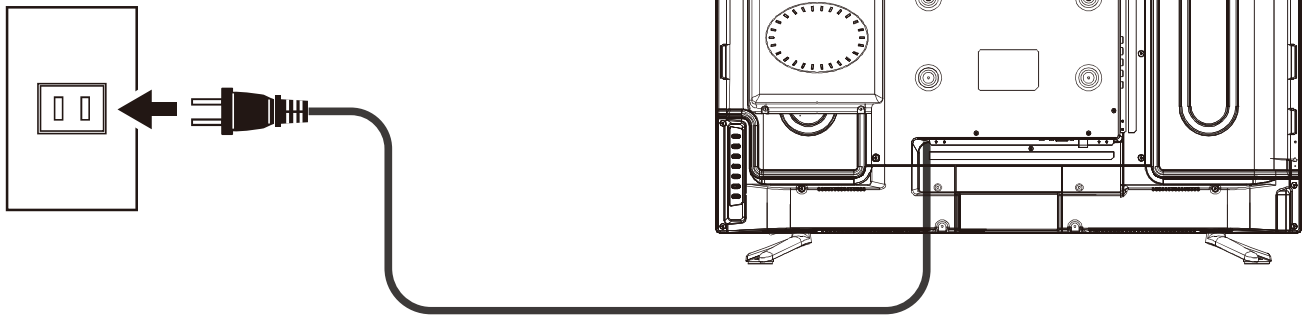
ご使用前に

- ※アンテナ工事には専門的な知識と技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ※アンテナ線を接続するときは、必ずテレビ本体および接続機器の電源プラグを抜いてください。
- ※アンテナ線は必ず同軸ケーブル(アンテナケーブル)を使用してください。
- ※アンテナ線にデジタル機器を近づけないでください。

電源の接続

電源プラグをコンセントに接続します。

壁等のコンセントへ



- ※本体背面は熱くなります。絨毯やカーテン、衣服やプラスチック製品など溶けたり燃えたりするような物を付近に置かないでください。変形・溶解・発火する可能性があります。また、風通しの良いところへ設置してください。
- ※電源プラグがコンセントに押し込めないときは、専門業者に相談してコンセント交換などの対応をしてください。

デジタル放送の視聴

テレビをみる

テレビ放送画面への切り換え、およびテレビの視聴・操作・設定は、付属のリモコンで行います。
この取扱説明書では、主にリモコンを使用した場合の使用方法を説明します。

入力切換
TV
DVD
PC
HDMI1
HDMI2
AV
USB
決定

P14

テレビをみる

初期設定

- 1 テレビ画面を起動する**
リモコンの電源ボタンまたは本体背面左側の電源ボタンを押すと、黒いモニターに読み込み中の画面が表示されます（数秒後に消えます）。
- 2 チャンネル検索**
はじめて本機を使用する時や、受信できる放送局（電波地域）が変更になった場合、チャンネルスキャンを行ない、受信できるチャンネルを登録する必要があります。
●はじめてテレビ画面を起動すると右の画面が表示されます。
画面に従って初期設定を行なってください。
- 3 テレビ放送の表示**
チャンネルスキャン後、チャンネル登録を完了するとテレビ放送が表示されます。

初期設定

初期設定を下記の順に行います。

- 1) B-CASカードの確認
- 2) 地域設定
- 3) チャンネルスキャン

B-CASカードが入っていることを確認した後、決定ボタンを押してください。

決定 次へ

地上デジタル放送が受信できないと思ったら…

- ① 地上デジタル放送の受信エリア内であること
- ② 地上デジタル放送を受信できる適切なアンテナがあること
- ③ B-CASカードが正しく挿入されていることをご確認ください。

※電波状況が悪い場合、映像や音声が進んだり乱れたりすることがあります。

アンテナの向きを調整して、再度チャンネルスキャンを行なってください。

※受信できる放送局が変更になった場合など、再度チャンネルスキャンを行なう必要がある場合は、デジタル放送視聴中にリモコンの「メニュー」→「スキャン」から再度チャンネルスキャンを行なうことができます。

※電波状況は天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。

※チャンネルスキャンを行なうと、現在登録されている放送局は上書き消去されますのでご注意ください。

基本操作

■チャンネルを選択する

リモコンの【チャンネル】ボタン
または番号ボタンを押します

1 ~ 12



■音量を調整する

リモコンの【音量+・-】ボタンを押します



■音声多重切換

ステレオ音声で主音声／副音声を切替えます
切り換えます

リモコンの【音声】ボタンを押します



■字幕放送

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなどを表示します

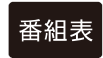
リモコンの【字幕】ボタンを押します



■番組表

番組表一覧を表示します

リモコンの【番組表】ボタンを押します



リモコンの【▲・▼・◀・▶】
ボタンで番組を選び、【決定】
ボタンを押します

【戻る】ボタンまたは【番組表】
ボタンを押すとテレビ画面に戻ります



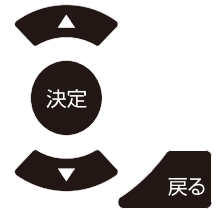
■チャンネルリスト

チャンネル登録された放送局のリストが
表示されます

リモコンの【チャンネルリスト】ボタンを
押します



リモコンの【▲・▼】ボタンで
チャンネルを選び、【決定】
ボタンを押します。リモコンの
【戻る】ボタンまたは【チャンネル
リスト】を押すとテレビ画面に戻ります



■メニュー

デジタル放送視聴中に、リモコンの【メニュー】ボタンを押すと、様々な設定・確認を行なうことができます

- スキャン：放送局のスキャンを行ないます
- 地域設定：地域の設定を行ないます
- 受信レベル：登録された放送局の受信レベルを確認できます
- リモコン設定：リモコンの番号ボタンに放送局を割り当てます
- 字幕：字幕表示の設定を行なうことができます
- 録画管理：予約リスト、録画リスト、ディスク情報、ディスク初期化を行ないます
- その他
 - ・B-CAS カード確認：B-CAS カードの情報を表示します
 - ・初期化：工場出荷時の状態へ本体をリセットします
 - ・アップデート：システムのアップデートを行ないます(通常使用しません)



■画面サイズの切換

リモコンの【画面サイズ】ボタンを押して、自動画面、4：3画面、16：9画面、ズーム1、ズーム2を切り換えます



「映像が止まる」「音が出ない」「音声が途切れる」等の受信が安定しない場合がございます。その場合は下記事項をご確認下さい。

- ※ メニューの受信レベルで電波強度が確認できます。受信レベルが50以下だと安定して再生出来ない場合があります。
- ※データ放送、緊急警報放送は受信できません。
- ※CATV（ケーブルテレビ）の受信は、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。接続やご利用方法については機器や会社ごとに異なります。ご加入しているCATV会社にお問い合わせください。(本機にはCATVパススルーの機能はありません)
- ※デジタル放送では受信状態が悪くなると音声が途切れたり、画面が止まったり、またはブロックノイズが出たりすることがあります。移動中に受信するときは、静止中の受信に比べ受信エリアが狭くなり、場所や位置により受信しにくくなる場合があります。
- ※建物、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔の無い地域、地形、強力な電波を発信する施設の近辺、電波障害を受けやすい場所等の、受信に影響が出やすい場所では、受信できない場合があります。
- ※アンテナが正しく接続されていない場合。
- ※放送エリアのめやすは、社団法人放送サービス高度化推進協会ホームページをご参照下さい。(www.apab.or.jp)
- ※その他の問題が見られる場合は、P.36～P.37『故障かもと思ったら…』をご参照下さい。

本体とUSBハードディスクを接続する

本製品は別売の録画用ハードディスクを接続して視聴している番組を録画することができます。

本製品で番組を録画するためには、別売のUSB接続ハードディスク(HDD)および接続用USBケーブルが必要です。

P16

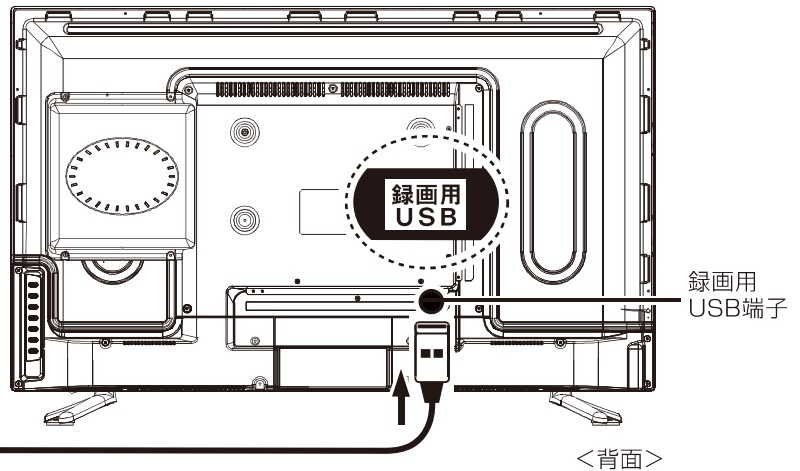
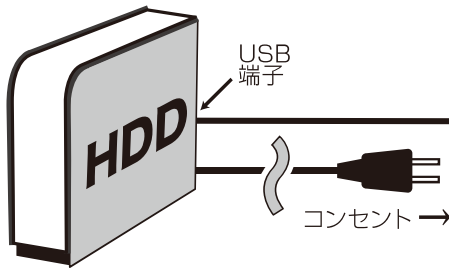
ハードディスクを接続する

1 本体の録画用USB端子と録画用ハードディスクのUSB端子を接続します。

本体、ハードディスクともに電源をオフにしてからUSBケーブルを接続後、ハードディスクの電源プラグをコンセントに差し込んでください。本機に接続できるUSBハードディスクの容量は最大2TBです。

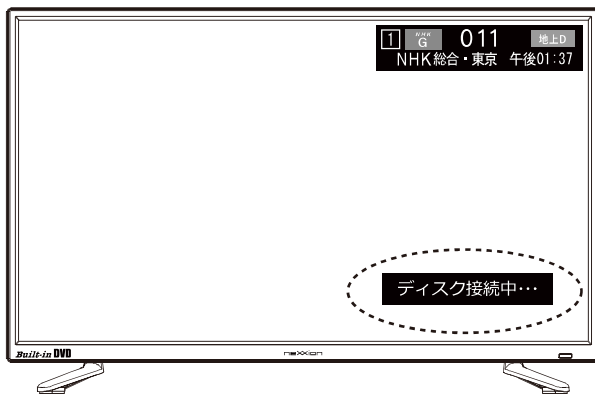
※バスパワー型のポータブルハードディスクはご使用になれません。電源供給型のハードディスク(標準規格USB2.0)をご使用ください。本機ではUSBハブはご使用にはなりません。本機とハードディスクとの相性などに起因するトラブルについては対応しかねます。

ハードディスク(別売)
電源供給型のハードディスク
(市販品、標準規格USB2.0)



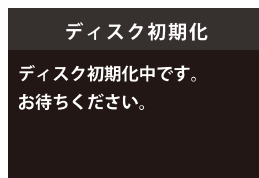
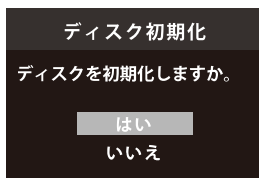
2 ハードディスクの電源をオンにし、テレビ本体の電源もオンにします。

「ディスク接続中…」と画面に表示されます。

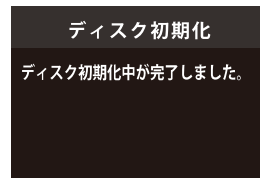


接続してから本機がハードディスクを認識するまで最大1分ほど時間を要する場合があります。ハードディスクの動作中は、本機やハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。本機やハードディスクの故障の原因となります。また、保存した内容が消去される場合があります。新品のハードディスクの場合、正しく初期化されない場合があります。その場合、パソコンに接続して初期化を行ない、再度、本機に接続して初期化を行なってください。

3 『はい』を選択して【決定】ボタンを押すと、「ディスク初期化中です。お待ちください。」と表示され初期化が始まります。



4 下の表示が出ると初期化は成功です。【決定】ボタンを押して視聴画面に戻ってください。

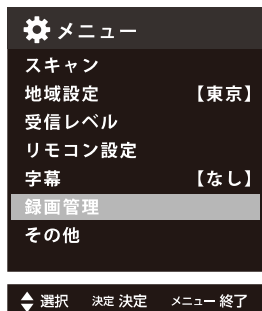


※初期化中はチャンネル操作ができません。

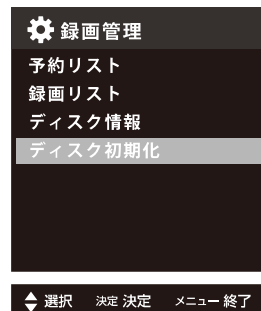
※初期化中に電源を切らないでください。初期化に失敗する恐れがあります。

ハードディスクの初期化

- 1 リモコン【メニュー】ボタンを押して『録画管理』を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 2 『録画管理』内の『ディスク初期化』を選んで【決定】ボタンを押します。



16ページの3と4の手順で初期化を行ないます。

■ディスク情報

接続されているHDDのディスク名、ディスク容量、ディスク残量が表示されます。

※ HDDのディスク容量は、本機のシステムでは1TB=1024GB、1GB=1024MB、1MB=1024KB、1KB=1024Byteでの容量認識となります。
 (例) 1TBのHDDですと、1,000,000,000,000Byte÷(1024×1024×1024×1024)
 = 約909GB以上で認識されていれば正常です。

ディスク情報	
ディスク名	USB to ATA/ATAPI
ディスク容量	909.49GB
ディスク残量	909.49GB

HDD録画の注意事項

- 本機は「シグナルチューナー」を搭載しています。現在視聴している番組とは違う番組を録画することはできません(録画中は現在録画している番組以外の視聴はできません)。
- 何らかの理由(主電源が切れた、電波が途切れた等)で録画が中断した場合には、データが破損しますので、再生できない場合があります。
- ビデオやHDMIなどの外部入力を記録することができません。地上デジタル放送の録画のみ可能です。
- 本製品で録画したデータは、パソコンなどで使用や視聴はできません。
- 録画中には、すでに録画した番組を再生することはできません。
- 番組表は約7日後まで取得することができます。それ以上の録画予約はできません。
- 同じ時間帯に重複した録画をすることはできません。
- ハードディスクに録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
 - ・ハードディスクを認識するまでに最大1分程かかる場合があります。
 - ・ハードディスクで録画した番組は本機でのみ、再生が出来ます。
 - ・録画した番組を再生すると、映像と音声が多量にずれる場合がありますのでご注意ください。
- 著作権保護のため本機で録画した番組(以下録画データ)は移動(ムーブ)や複製(コピー)をすることはできません。
- 本機の故障などの理由により修理や交換などをした場合には、すでに録画していた録画データが視聴できなくなります。あらかじめご了承ください。
- 本機を購入されたお客様が録画した番組については、個人または家庭内その他これらに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを上記の範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - ・録画した番組を自分のホームページに載せる。
 - ・録画した番組をメールなどで他人へ送る。
 - ・録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。
- 著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので行なわないでください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。
- 録画用のハードディスク(HDD)は、DVDディスク等と違い半永久的に使用/保存できる記録メディアではありません。
- 録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。ディスクなどへ恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合には、複製コピーや移動ムーブができるCPRM対応・レコーダー等の使用をお勧めします。

直接録画(視聴中の番組を録画する)

番組の視聴中に【録画】ボタンを押すと、メッセージが表示されます。
録画が開始されると、画面の右下に●録画中と表示されます。
本体下のパイロットランプの緑と赤色が交互に点滅します。

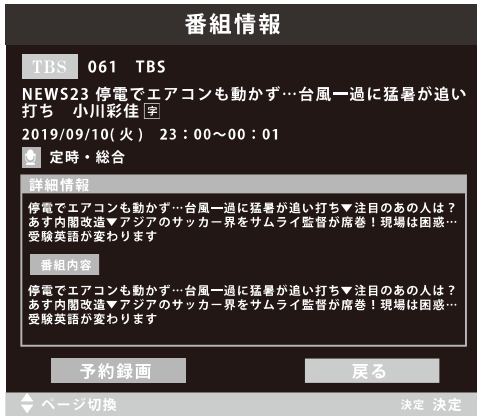
この番組の録画準備中です。
しばらくお待ちください。

P18

録画・予約・再生

録画予約(番組表から録画する番組を選択する)

- 1 リモコンの【番組表】ボタンを押し、番組表を表示させます。
- 2 録画したい番組を番組表から選び【決定】ボタンを押すと「番組情報」の画面が表示されます。



- 3 「予約録画」を選択します。無操作時には約5分間でテレビ視聴画面に戻ります。

※予約録画を設定すると、予約した番組の放送時間に録画を開始します。

予約した番組の確認方法

■番組表で確認する

録画予約した番組が赤で表示されます。

■予約リストで確認する

「予約リストの確認と削除」(P.19)をご覧ください。

録画予約ができない場合

下記の場合には予約録画ができません。

- ・予約時間が重複している場合。
- ・録画時間がハードディスクの容量を超える場合。
- ・短い番組(約1~4分以下の番組)
- ・受信レベルが低下している場合。
- ・番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合。
- ・番組が延長した場合。

録画の停止

録画中にリモコンの【停止】ボタンを押すと録画停止メッセージが表示されます。『はい』を選択し、【決定】ボタンを押すと、その時点までの録画がハードディスクに保存されます。

録画を停止しますか？

はい

いいえ

※録画中はコンセントを抜かないでください。

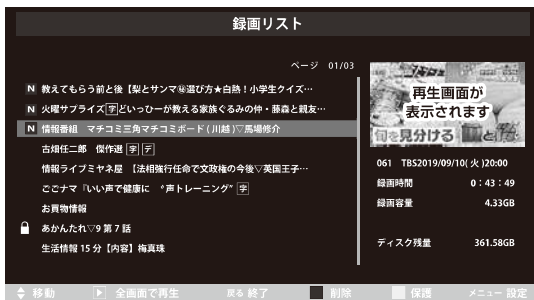
録画に失敗し、録画しているデータは消去されます。

※録画中は、他のチャンネルの番組はご視聴になれません。

リモコンのチャンネルボタンおよび数字入力によるチャンネルの切り換えはできません。

録画リストの確認と削除

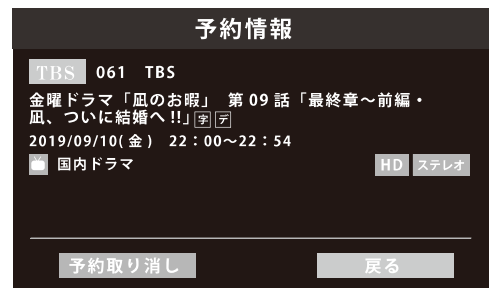
リモコン【録画リスト】ボタンを押して、録画リストで削除したい番組を選びます。リモコンの【赤】ボタンを押します。『予約取り消し』を選んで【決定】ボタンを押します。



※複数の番組を一度に削除する場合は、「決定」ボタンで削除したい番組を選択し【赤】ボタンで削除できます。

予約リストの確認と削除

【赤】ボタンを押すと選択した番組が削除できます。リモコンの【予約リスト】ボタンを押します。予約リストで取り消したい番組を選択して【決定】ボタンを押します。『予約取り消し』を選択して【決定】ボタンを押します。



※番組表からでも削除することができます。

録画した番組の設定を変える

リモコンの【録画リスト】ボタンを押した後、リモコンの【メニュー】ボタンを押すと録画した番組の設定を変える事ができます。

■ラスト位置からプレー

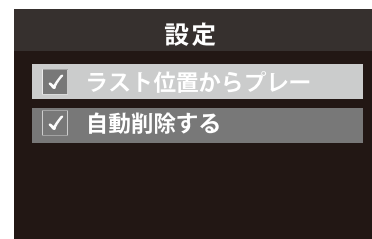
前回途中まで見た番組を再び視聴するとき、前回の続きから再生します。

■自動削除する

ハードディスクの残量が新しく録画したい番組に対して不足している時、古い番組から自動的に削除されます。


■番組の保護

録画リストを開いている時、リモコンの【黄色】ボタンで保護する事により、自動削除の機能を設定している状態でも、保護されている番組は自動削除されません。




※ハードディスク残量が30GB未満になると、データ処理のため視聴中の番組録画の起動に時間がかかります。ディスク残量が少なくなったら、幾つかの番組を削除してディスク残量を増やすことをお勧めいたします。

録画した番組を見る

リモコンの【録画リスト】ボタンを押します。
録画リストで録画した番組を選びます。
【再生 】ボタンを押すと再生がはじまります。

- ・未再生の番組は **N** で表示されます。
- ・再生が始まったとき、右下に▷が表示されます。

※下記番組情報の画面メッセージが表示されます。
しばらくすると消えますが、【画面表示】ボタンを押すと再表示されます。

録画再生 PM 2:43
にっぽん カメラアイ「オオサカありのままで、ありのままで」
地デジ 012



- ※録画中は録画してある番組を再生することはできません。
- ※再生中は「メニュー」の操作はできません。
- ※再生中は番組表などの一部の操作をすることができません。
- ※録画中はビデオやHDMIなど外部入力への切り換えはできません。
- ※録画中は録画リストを表示することができません。また、HDDに録画された番組を視聴することはできません。

再生時のリモコン操作

下記の各操作ができます。

■再生・一時停止

再生中に一時停止と再生を切り換えます。
早戻し / 早送り状態から通常再生に戻ります。

再生



■停止

再生を停止します。録画リストに戻ります。

停止



■早戻し

押すたびに2倍速→4倍速→8倍速→
16倍速→32倍速で早戻し再生ができます。

早戻し



■早送り

押すたびに2倍速→4倍速→8倍速→
16倍速→32倍速で早送り再生ができます。

早送り



■前の番組

前の番組 前の録画データを再生します。

前の番組



■次の番組

次の番組 次の録画データを再生します。

次の番組



- ※電源を入れた直後はUSBハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画一覧が開かない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度録画一覧を開いてください。
- ※早戻し早送り中に音声は再生されません。
- ※再生中に番組先頭まで巻き戻すと再生が再開されます。
- ※再生中に番組を最後まで早送りすると「録画リスト」の画面に戻ります。
- ※再生中に停止ボタンまたは番組を最後まで再生すると「録画リスト」の画面に戻ります。
- ※「録画リスト」画面から通常のテレビ視聴画面に戻る場合には【戻る】ボタンまたは【録画リスト】ボタンを押してください。

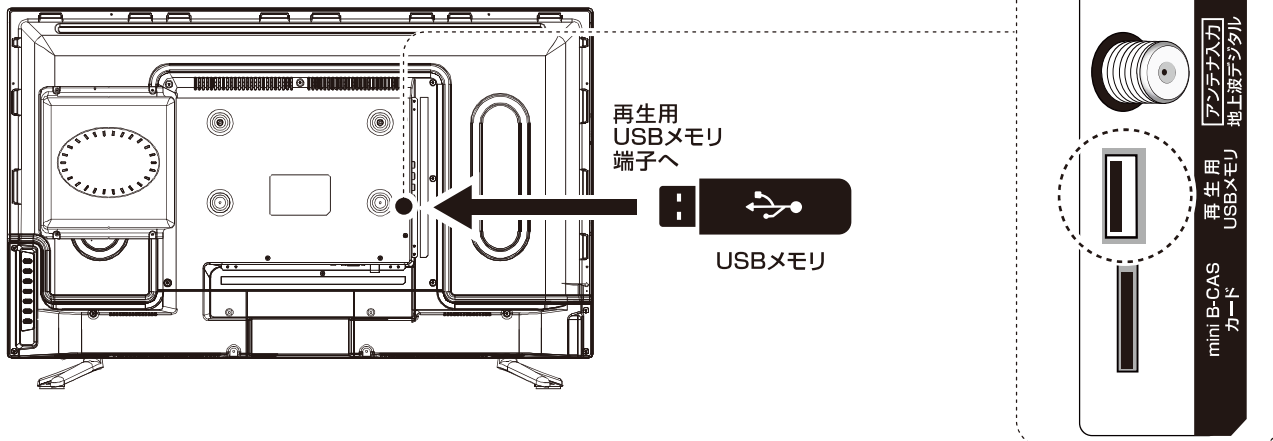
ハードディスクの取り外し方

ハードディスクをテレビ本体から取り外す際は、ハードディスクとテレビ本体の電源をオフにしてから取り外してください。再生中や録画中などハードディスクの動作中に取り外すと、本機やハードディスクの故障の原因となりご使用になれなくなる場合があります。

USBメモリの再生

USBメモリの接続

USBメモリを、本体背面の再生用USB端子に正しい向きで挿入します。



入力切換

リモコンまたは本体の【入力切換ボタン】を押して『USB』を選択します。
USBメモリ内のデータを再生する場合はUSBモードにしてご使用ください。

■USBメモリのご使用にあたって

対応規格：32GBまでのUSBメモリ

- ※本機でのUSBメモリの利用方法については、本取扱説明書記載のご利用方法をご確認ください。
- ※USBメモリに不具合があって、本機で認識しない場合もございます。ご利用のUSBメモリがパソコン等の他機器で認識されるかご確認いただくか、USBメモリを換えてお試し頂くようお願い致します。
- ※USBメモリのメーカーによっては、他機器で認識しても本機で正しく動作しない場合があります。メーカーを変えてお試し頂く場合は、国産または国内産をお薦めします。
- ※本機の使用途中や他機器と接続中などに、万一、USBメモリ内のデータの破損や消滅があったとしても、保証を致しかねます事を予めご了承下さい。

メディア／ファイルについて

■画像再生・音楽再生・動画再生について

- ・画像再生は、JPEG形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。
他の画像形式のファイルや「.bmp」、「.tif」などの異なる拡張子が付いたファイルは再生できません。
- ※JPEGとは、静止画像のデジタルデータを圧縮する方式のひとつで、JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。
- ・画像のファイルサイズ又はファイル構造により、ディスプレイに表示されるまでに時間がかかることがあります。
- ・デジタル著作権管理 (DRM) されたファイルは再生できません。
- ※DRMとは、デジタルデータとして表現されたコンテンツの著作権を保護し、その利用や複製を制御・制限する技術の総称を言います。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術などが有名ですが、広義には画像ファイルの電子透かしなどもDRMに含まれます。
- ・音楽再生は、MP3/WMA (DRM非対応) 形式のファイルをパソコンから転送時に、専用ソフトを使って独自の暗号化 (著作権保護) を施すもので使用されるファイルを入れたUSBメモリは本製品では再生できません。
例：アップル製「iPodシリーズ」、ソニー製「ウォークマンシリーズ」、パナソニック製「D-snap オーディオシリーズ」など
- ・MP3/WMA形式ファイルは、記録された順序で再生できないことがあります。
また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- ・動画再生は、MPEG2/MPEG4の対応形式のファイルでも、すべての再生を保証するものではありません。
記録条件や記録状況によっては再生できない場合があります。
- ・H.264/AVC形式のファイルは再生できません。

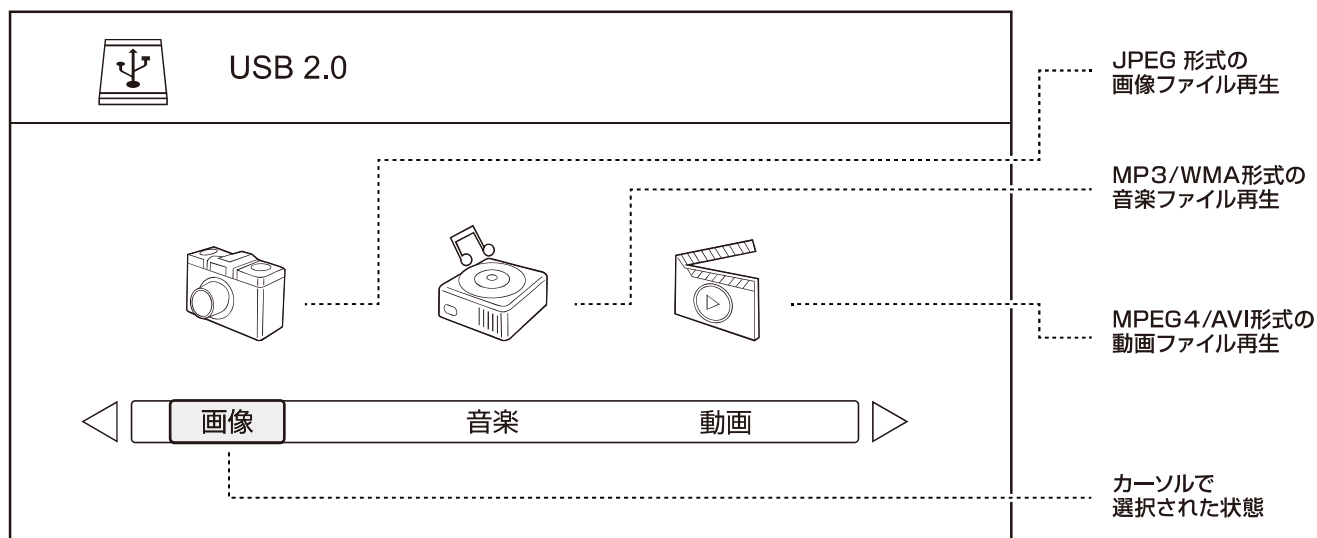
■USBメモリについて (国産・国内メーカー品をお薦めします)

- ・すべてのUSBメモリについての作動保証はしていません。
- ・容量32GBを超えるUSBメモリは作動保証していません。
- ・USBメモリは、記録された順序で再生できないことがあります。
また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。

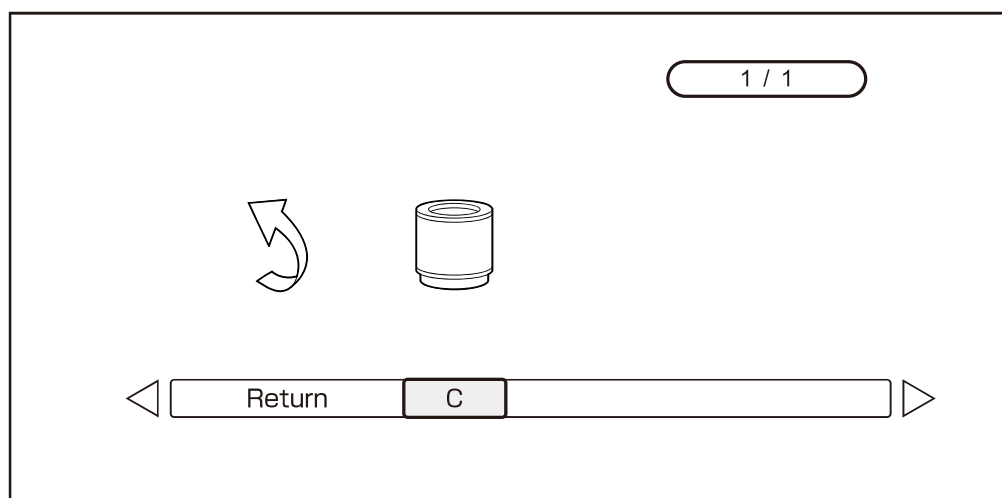
USBメモリの再生

再生ファイルの選択

リモコンまたは本体の【入力切換】ボタンを押して「USB」を選択すると下記の画面が表示されます。リモコンの【方向ボタン（左/右）】でカーソルを移動させ、再生したいファイルの種類を選びます。



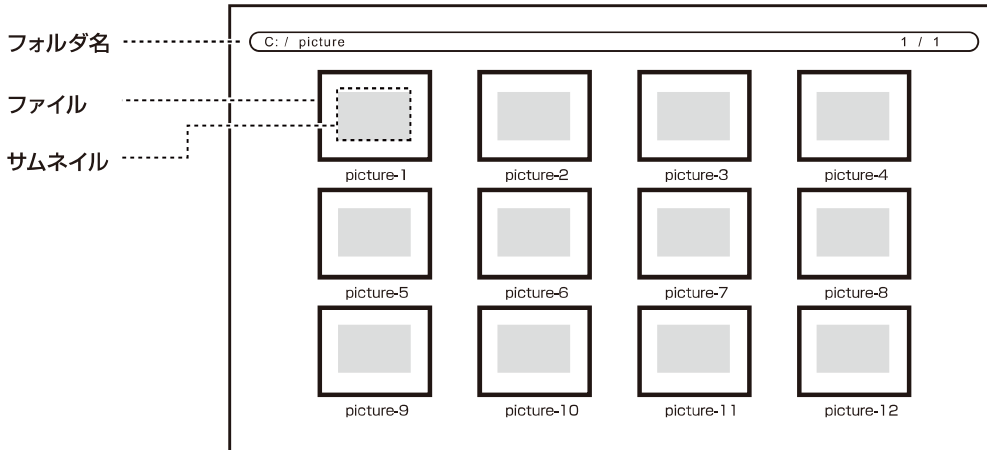
ファイルの種類を選ぶと下記の画面が表示されますので「C」を選択し、リモコンの決定ボタンを押すとUSBメモリ内のファイルが表示されます。



画像ファイルの再生

JPEG形式のファイルが保存されたUSBメモリを本機にセットして画像アイコンを選択すると、下記のメニュー画面が表示されます。この画面で表示する画像ファイルを選択し、決定します。

※カーソルをファイルに合わせ数秒経つと、サムネイルや画像ファイルの情報が表示されます。



■操作方法

- ・リモコンの【方向ボタン】を押して青色の枠を移動させ、再生したいファイルを選択します。
上記のようなファイル情報とサムネイル（小さい画像）が表示されます。
- ・【決定ボタン】または【再生／一時停止ボタン】を押すと、選択した画像ファイルが表示されます。

※再生中に【決定ボタン】を押すと画面下部分に操作画面が表示されます。【方向ボタン】で操作したいアイコンを選択して【決定ボタン】を押します。【戻るボタン】を押すと元の画面へ戻ります。

※操作画面は無操作時間が10秒を経過すると自動的に消えます。

操作画面



- Play/Pause：再生／一時停止
- Prev:：前の画像ファイルへ移動
- Next:：次の画像ファイルへ移動
- Stop：停止
- Repeat 1：再生中のファイルを繰り返し再生
- Repeat All：フォルダ内の全てのファイルを繰り返し再生
- Repeat None：通常再生
- Music

※画像フォルダ内に音楽ファイル (MP3/WMA) を入れた状態で”Music”を選択すると、画像ファイル再生時にBGMとして再生することができます。

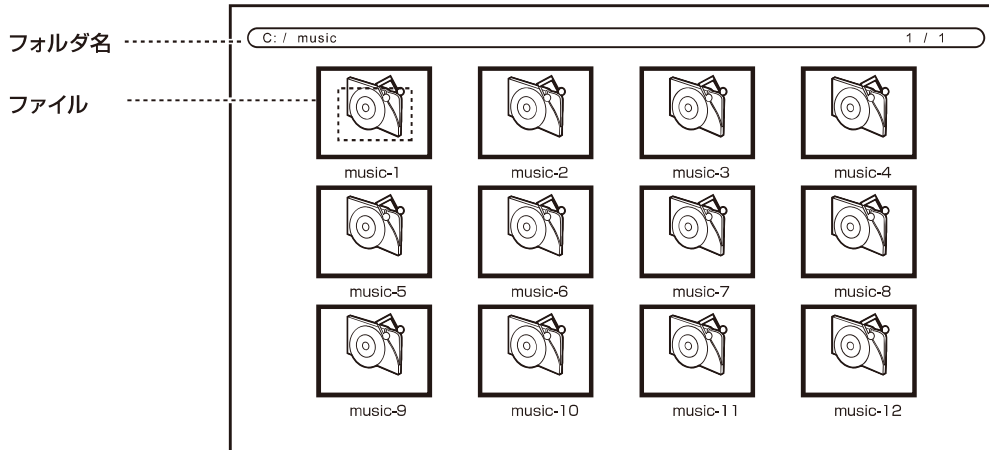
- Playlist：フォルダ内の画像ファイルリストを表示
- Info：再生中の画像ファイル情報を表示
- Rotate 90°：画像を90度右へ回転
- Rotate 270°：画像を90度左へ回転
- Zoom In：倍率変更 x2、x4、x8
- Zoom Out：倍率変更 x1/2、x1/4
- Move Vi：Zoom Inで拡大表示中に”Move Vi”を選択すると、左右の【方向ボタン】で画像を動かして表示範囲外になっている部分を見ることができます。

USBメモリの再生

音楽ファイルの再生

MP3/WMA 形式のファイルが保存されたUSBメモリを本機にセットして音楽アイコンを選択すると、下記のメニュー画面が表示されます。この画面で音楽ファイルを選択し、再生するファイルを決めます。

※カーソルをファイルに合わせ数秒経つと音楽ファイルの情報が表示されます。



■操作方法

- ・ リモコンまたは本体の【方向ボタン】を押して青色の枠を移動させ、再生したいファイルを選択します。上記のようなファイル情報が表示され、音楽ファイルが再生されます。
- ・ 【決定ボタン】または再生／一時停止ボタンを押すと、選択した音楽ファイルの再生画面が表示されます。
 - ※再生中に【決定ボタン】を押すと画面下部分に操作画面が表示されます。【方向ボタン】で操作したいアイコンを選択して【決定ボタン】を押します。戻るボタンを押すと元の画面へ戻ります。
 - ※操作画面は無操作時間が10秒を経過すると自動的に消えます。

操作画面

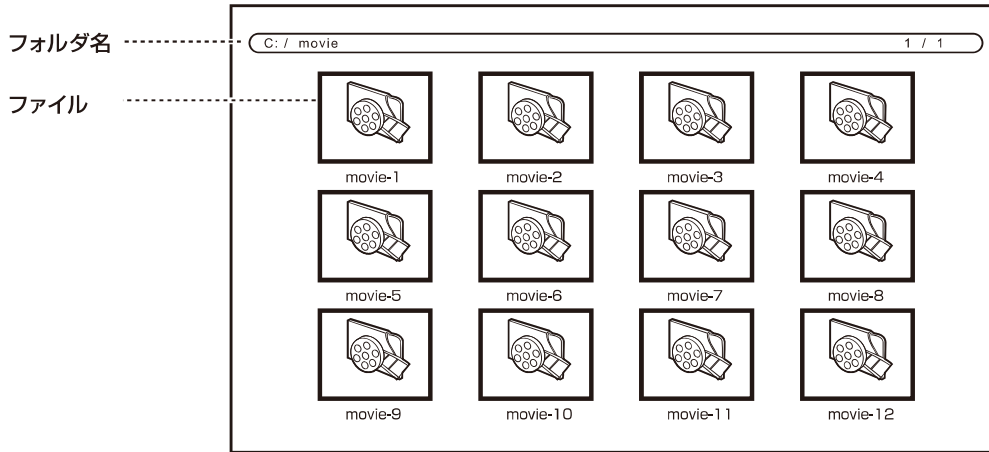


- Play/Pause：再生 / 一時停止
 - FB：早戻し
 - FF：早送り
 - Prev.：前の音楽ファイルへ移動
 - Next：次の音楽ファイルへ移動
 - Stop：停止
 - Repeat 1：再生中のファイルを繰り返し再生
 - Repeat All：フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生
 - Repeat None：通常再生
 - 消音
 - Playlist：フォルダ内の音楽ファイルリストを表示
 - Info：再生中の音楽ファイル情報を表示
 - Goto Time：再生開始時間の設定
- ※数字入力後、“決定”を選択します。指定時間から音楽ファイルが再生されます。

動画ファイルの再生

MPEG4/AVI 形式のファイルが保存されたUSBメモリを本機にセットして動画アイコンを選択すると、下記のメニュー画面が表示されます。この画面で動画ファイルを選択し、再生するファイルを決めます。

※カーソルをファイルに合わせ数秒経つとサムネイルや動画ファイルの情報が表示されます。



操作方法

- ・リモコンまたは本体の【方向ボタン】を押して青色の枠を移動させ、再生したいファイルを選択します。上記のようなファイル情報が表示され、動画ファイル（サムネイル）が再生されます。
- ・【決定ボタン】または再生／一時停止ボタンを押すと、選択した動画ファイルの再生画面が表示されます。

※再生中に【決定ボタン】を押すと画面下部分に操作画面が表示されます。【方向ボタン】で操作したいアイコンを選択して【決定ボタン】を押します。戻るボタンを押すと元の画面へ戻ります。

※操作画面は無操作時間が10秒を経過すると自動的に消えます。

操作画面



- Play/Pause：再生 / 一時停止
- FB：早戻し
- FF：早送り
- Prev.：前の動画ファイルへ移動
- Next：次の動画ファイルへ移動
- Stop：停止
- Repeat 1：再生中のファイルを繰り返し再生
- Repeat All：フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生
- Repeat None：通常再生
- Set A-B：A-B リピート再生
- Playlist：フォルダ内の動画ファイルリストを表示
- Info：再生中の音楽ファイル情報を表示
- Slow For：スロー再生 ※スロー倍率を変更できます。
- Step For：コマ送り
- Goto Time：再生開始時間の設定
- ※数字入力後、“決定”を選択します。指定時間から動画ファイルが再生されます。
- Zoom In：倍率変更 x 2、x 4、x 8
- Zoom Out：倍率変更 x 1/2、x 1/4
- 画面サイズ：自動 / 16 : 9 / 4 : 3
- Move Vi：Zoom In で拡大表示中に“Move Vi”を選択すると、左右の【方向ボタン】で画像を動かして表示範囲外になっている部分を見ることができます。

DVD / CDディスクについて

再生できるディスクについて

下記のマークはディスクラベル、パッケージ、またはジャケットに記載されています。

<p>DVDビデオディスク</p> <ul style="list-style-type: none">○12cm○リージョンコードが2およびALL○映像方式:NTSC  	<p>DVD-R/RW・DVD-R</p> <ul style="list-style-type: none">○12cm○ファイナライズ済   <p>※ディスクによっては再生できない場合があります。</p>
<p>DVD+R/RW・DVD+R</p> <ul style="list-style-type: none">○12cm○ファイナライズ済   <p>※ディスクによっては再生できない場合があります。</p>	<p>オーディオ CD/CD-R/CD-RW</p> <ul style="list-style-type: none">○12cm   

ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

※MPEG4のディスクコーデックによって再生できない場合があります。

本機は CPRM* 対応のディスクに VR モードで録画された地上デジタル放送、BS デジタル放送、110°CS デジタル放送を再生することができます。

※DVD に記録した地上デジタル放送や BS デジタル放送は、著作権保護のため CPRM 対応プレーヤーでなければ再生できません。

*CPRM(Content Protection for Recordable Media)とは、録画回数に制限がある番組に対する著作権保護技術です。

再生できないディスクについて

本製品では以下のディスクなどを再生することはできません。

- Blu-ray ディスク
- AVCHD 記録ディスク / Ave H.264 記録ディスク
- HD DVD
- DVD-RAM
- フォト CD フォーマットで記録した CD-ROM
- CD-EXTRA のデータ部分
- DVD オーディオ
- MP3/JPEG 画像 / 動画ファイルを含まないデータ DVD およびデータ CD
- スーパーオーディオ CD の HD(ハイデンシティ) レイヤー
- このページで記載のフォーマット以外で記録した CD-ROM/CD-R/CD-RW
- 本製品では再生できないリージョンコード(地域番号)の市販の DVD
- 円形以外の特殊な形状(カード型・ハート型など)をしたディスク

再生時のご注意

記録済みの DVD-R/-RW、DVD+R/+RW は、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、DVD 書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。

記録型 DVD の記録終了時に終了情報を記録する「ファイナライズ」作業を行っていないディスクは再生できません。(詳しくはレコーダー等の取扱説明書をお読みください)

記録型メディアによっては、適切にファイナライズ作業が行われていても本製品のいくつかの再生機能が使えなかったり、ディスクが正常に再生できない場合があります。

Blu-ray/DVD ハイブリッドディスクは、記録方式が従来の DVD 規格とは異なるため、本機で再生できません。

リージョンコード(地域番号)について

リージョンコードは著作権保護を目的に設けられた制度です。
市販のDVDビデオのパッケージには、販売地域によって、リージョンコードが表示されています。
地域番号に「ALL」、または「2」が含まれているときは本機で再生可能です。



DVDに表示されるマークについて

DVDのディスクラベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。



記録されている音声の数を示します。
(左の例は、日本語、英語などのような2種類の音声収録されています。)



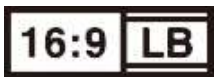
記録されている字幕の数を示します。
(左の例は、日本語、英語などのような2種類の字幕収録されています。)



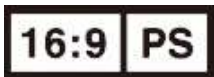
横:縦=4:3の標準サイズで記録されていることを示します。



レターボックス(横:縦=4:3で上下に黒帯が入っている画面)で記録されていることを示します。



横:縦=16:9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4:3)のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。



横:縦=16:9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4:3)のテレビの場合はパン&スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生されるように指定されることを示します。

本機はマルチアングルで記録されているDVDディスクのマルチアングル機能には対応していません。

DVDの再生

基本操作

1 電源を入れる

本体またはリモコンの電源ボタンを押してください。

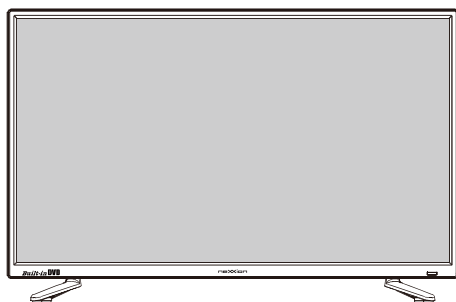
2 DVDへの切換

本体またはリモコンの「入力切換」ボタンを押す→
本体「チャンネル」ボタンまたはリモコンの「▲▼」ボタンで「DVD」を選択→
本体またはリモコンの「決定」ボタンを押す
の順に操作すると DVD 画面に切り換わります。

入力切換
TV
DVD
PC
HDMI1
HDMI2
AV
USB
◎ 決定

3 ディスクの出し入れ

ディスクの読み取り面（何も印刷されていない面）が前向きになるようにして、ディスクを本体右側面のディスクスロットに挿入します。
自動的に読み込みが始まります。
ディスクを取り出すには、リモコンの「イジェクト ▲」ボタンを押してください。



※読み取り面が前、ラベル面が後ろに向くように挿入してください。
途中まで入れると自動的に引き込まれていきます。

- ※本機はディスクトレイ（引き出し部分）がないスロットイン方式となっています。
- ※ディスクの挿入は、電源を入れて DVD 画面へ切り換えてから行なってください。
- ※電源が入っていない状態、または DVD 画面以外のおときは、ディスクの挿入や取出しはできません。
- ※ディスクの強引な挿入や、ディスクの向きを間違えて挿入すると、本機やディスク破損の原因となりますのでご注意ください。

4 再生の開始

DVD のタイトル画面が表示されましたら、リモコンの「再生 / 一時停止 ▶||」ボタンまたは「決定」ボタンを押してください。再生が始まります。

5 一時停止

再生中に「▶||」ボタンを押すと再生を一時停止し、静止画像が表示されます。もう一度押すと、再生を再開します。

6 停止

再生中に「■」ボタンを押すと再生が停止し、DVD 画面に「再生ボタンでスタート」と表示されます。この状態で「▶||」ボタンを押すと、停止した場面の続きから再生が始まり、もう一度「■」ボタンを押すと、完全に再生が停止されます。

7 音量の調節

再生中、リモコンまたは本体の「音量+」ボタンを押すと音量が大に、「音量-」ボタンを押すと音量が小になります。

8 消音

再生中にリモコンの「消音」ボタンを押すと、音声のみを消すことができます。もう一度「消音」ボタンを押すと再び音声が出ます。

9 情報を見る

再生中にリモコンの「画面表示」ボタンを押すと、画面上に再生中のタイトル、チャプターの経過時間や残り時間など、現在再生中のディスクの情報が表示されます。
ボタンを押すたびに表示内容が変わり、数回押すと表示は消えます。

10 場面のスキップ

再生中にリモコンの「▶▶」または「◀◀」ボタンを押すと、1つ次または前のチャプターに移動します。

11 早送り・早戻し

再生中にリモコンの「▶▶早送り」または「◀◀早戻し」ボタンを押すと、早送りまたは早戻し再生をすることができます。再生速度はボタンを押すごとに変わります。

▶通常再生→▶▶×2再生→▶▶×4再生→▶▶×8再生→▶▶×16再生→▶▶×32再生→▶通常再生

12 場面を選択して再生

リモコンの「戻る」ボタンまたは「メニュー」ボタンを押すと各メニュー画面に入り、DVDの内容が画面に表示され、再生するチャプターや字幕などを簡単に選択することができます。

※ディスクによってはメニュー画面がない場合もあります。

13 音声切替

再生中にリモコンの「音声」ボタンを押すと、音声を切り換えることができます。

「音声」ボタンを押すたびに、音声の言語が切り換わります。

切替可能な音声の数と再生している音声の番号が画面に表示されます。

※ディスクによっては、DVDのタイトル画面から音声切替を行わなければならないものもあります。

14 字幕切替

再生中にリモコンの「字幕」ボタンを押すと、字幕切替ができます。

「字幕」ボタンを押すたびに、字幕の言語が切り換わります。切り換え可能な字幕の数と再生している字幕の番号が画面に表示されます。

※ディスクによっては、DVDのタイトル画面から字幕切替を行わなければならないものもあります。

※字幕データが収録されていないディスクでは、この機能は使えません。

※本機にはリピート再生機能はありません。

CDの再生

■本機では音楽CDを再生することもできます。音楽CDをディスクスロットに挿入すると自動的に再生を開始します。

音楽CDの再生ではDVDの再生と同じボタン操作で以下の操作を行うことができます。

●再生 ●停止 ●一時停止 ●前後スキップ ●早送り ●早戻し ●消音 ●音量+ / -

※自作のCD、DVDは再生できない場合もあります。

CD再生時の画面表示

音楽CDの再生中は、トラック（収録曲）の再生時間等の情報が画面に表示されます。

画面表示ボタンを押すごとに、下記の順に表示が切り替わります。

シングル経過時間 → シングル残り時間 → トータル経過時間 → トータル残り時間 → 表示オフ

数字ボタンを押して再生したいトラックを直接選択することも可能です。



※本機にはリピート再生機能はありません。

音響の設定

音声ボタンを押すと、ステレオ設定などを切り換えることができます。音声ボタンを押すたびに、下記の順に設定が切り替わります。

左モノラル → 右モノラル → ミックスモノラル → ステレオ

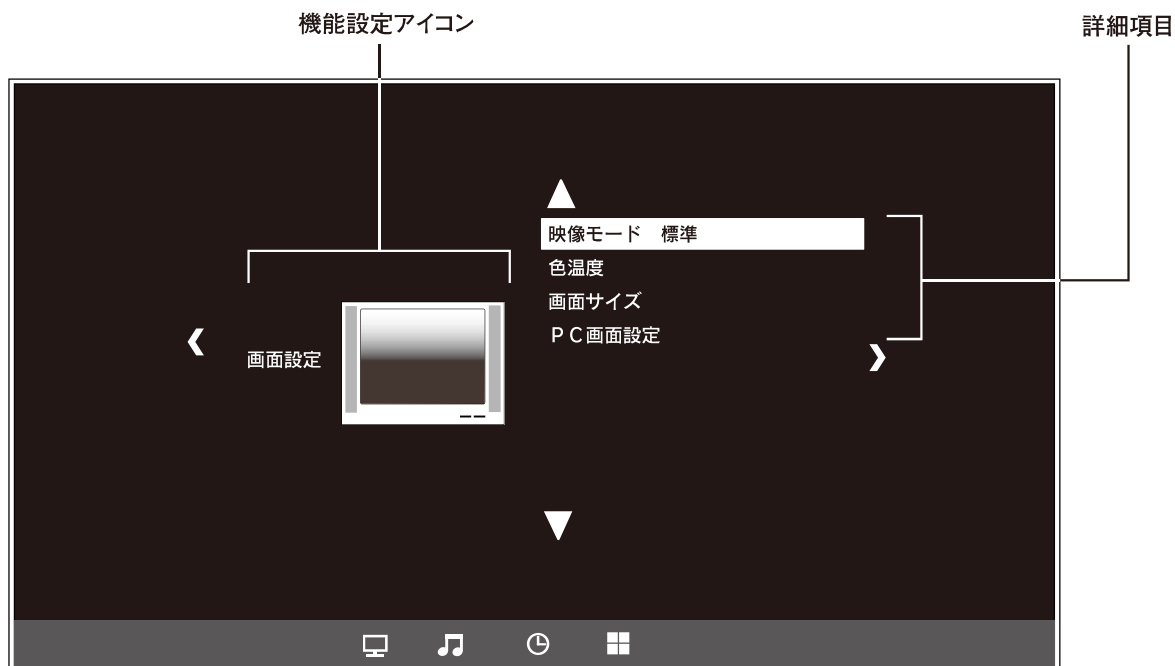
機能設定

本機では、画質や音声など、各種詳細項目を設定することができます。必要に応じて変更してください。

機能設定ページ

■機能設定の方法

- 1 リモコンの【設定ボタン】を押すと機能設定ページ画面が表示されます。
- 2 設定ページ→詳細項目→詳細選択項目の順に選択、決定していきます。
- 3 リモコンの【方向ボタン】で、画面設定→音声→時刻設定→機器設定から設定したいページや項目を選択し、【決定ボタン】を押して決定します。
- 4 設定ボタンを押して、設定を終了します。



画面設定

設定項目は下記のとおりです。

設定ページ	詳細項目
映像モード	4項目から選択可能です。 ・標準 ・柔らかい ・ユーザー ・ダイナミック
色温度	4項目から選択可能です。 ・ノーマル ・ウォーム ・ユーザー ・クール
画面サイズ	6項目から選択可能です。 ・自動 ・4:3 ・16:9 ・ズーム1 ・ズーム2 ・ジャストスキャン
PC画面設定	4項目から選択可能です。 ・自動調整 ・水平位置 ・垂直位置 ・フェーズ位置 ※ PC入力時に設定可能

音声設定



設定項目は下記のとおりです。

設定ページ	詳細項目
音声設定	5項目から選択可能です。 ・標準 ・音楽 ・映画 ・スポーツ ・ユーザー
スピーカーバランス	左右のスピーカーバランスが調整可能です。 ・ -50(画面向かって左側のみ) ~ 0(左右均等に出力) ~ +50(右側のみ)
自動ボリューム	チャンネル変更時、ソース切替時などの音声調整設定です。 ・オン ・オフ
サラウンドサウンド	3項目から選択可能です。 ・オフ ・SRS TruSurround XT ・Surround

P32

機能設定

時刻設定



設定項目は下記のとおりです。

設定ページ	詳細項目
日時	年/月/日/時/分を設定します。
自動電源オフ	電源をオフする時刻が設定可能です。 ・オフモード設定(1回/毎日/平日(月~金)/月~土/土日/日曜のみ)
自動電源オン	電源をオンする時刻、入力、音量が設定可能です。 ・オンモード設定(1回/毎日/平日(月~金)/月~土/土日/日曜のみ)
オフタイマー	電源をオフするまでの時間が設定可能です。 ・10分/20分/30分/60分/90分/2時間/3時間/4時間/6時間/8時間

※自動電源オンのタイマーを使用する際は入力切替にてTV、PC、HDMI1、HDMI2、AV、USBの画面上で設定ください。DVDでは動作せず、製品仕様上モードを設定しても切り換わりません。

機能設定 / その他

機器設定



設定項目は下記のとおりです。

設定ページ	詳細項目
言語設定	2項目から選択可能です。 ・ English ・ 日本語
機能設定初期化	機能設定を初期化可能します。
階調	3項目から選択可能です。 ・ 0～255 ・ 16～235 ・ 自動

P33

機能設定・その他

その他

ハードディスク(HDD)などの記録メディア

- 本製品で使用できるハードディスク (HDD) などの記録メディアは、半永久的に使用や保存ができるものではありません。
 - 録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損害することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。ディスクなどへ恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合には、複製や移動ができる他の外部機器での録画を推奨します。
- 下に記載しているハードディスクは弊社で使用を推奨するものです。
- ※ハードディスクにつきましては、それぞれの製品の取扱説明書をご確認ください。
 - ※下記製品の使用規格に準ずるハードディスクであれば他社製品であっても使用出来ますが、正常に使用することができなくても弊社は責任を負いません。
 - ※本製品の製造後に発売された新しいデータ書き込み速度やデータ転送方法では使用できない場合があります。
 - ※2TBを超えるハードディスクはご使用いただけません。
 - ※推奨機種以外でもパーティション方式が MBR であればご使用可能です。

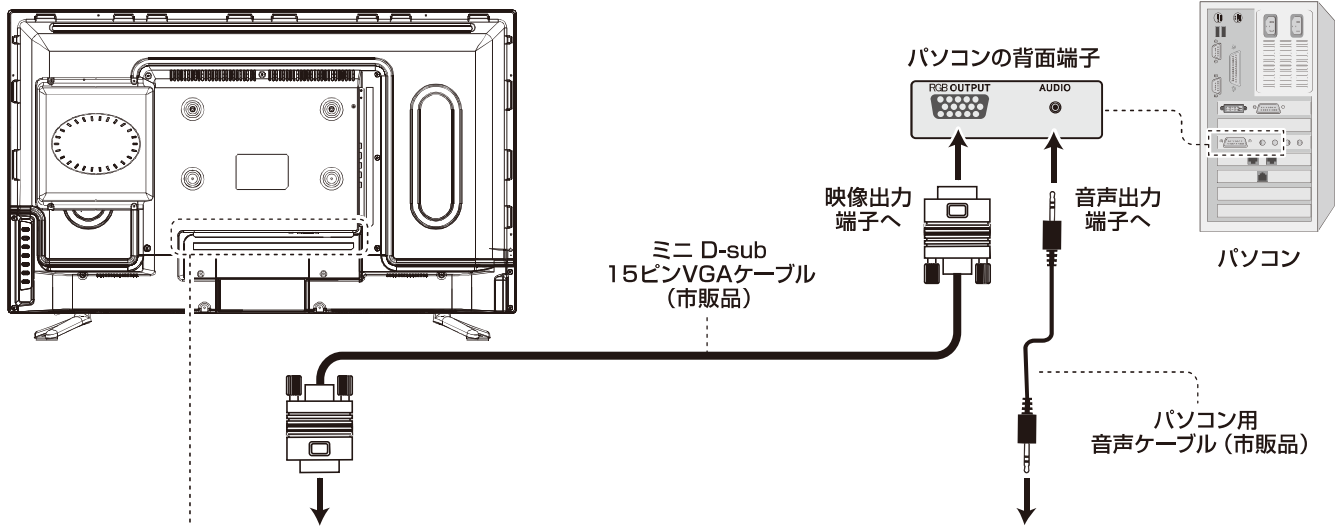
メーカー名	シリーズ名	型番	
BUFFALO (2TB まで)	HD-LLU3 シリーズ	HD-LL1.0U3-BK	HD-LL2.0U3-BK
	HD-LLU3-D シリーズ	HD-LL1.0U3-BKD	HD-LL2.0U3-BKD
	HD-LLU3-E シリーズ	HD-LL1.0U3-BKE	HD-LL2.0U3-BKE
	HD-LLU3-F シリーズ	HD-LL1.0U3-BKF	HD-LL2.0U3-BKF
	HD-LLDU3-A シリーズ	HD-LLD1.0U3-BKA	HD-LLD2.0U3-BKA
	HD-LCU3-C シリーズ	HD-LC1.0U3-BKC	HD-LC1.0U3-WHC
		HD-LC2.0U3-BKC	HD-LC2.0U3-WHC
	HD-LCU3-D シリーズ	HD-LC1.0U3-BKD	HD-LC1.0U3-WHD
		HD-LC2.0U3-BKD	HD-LC2.0U3-WHD
	HD-LCU3-E シリーズ	HD-LC1.0U3-BKE	HD-LC1.0U3-WHE
		HD-LC2.0U3-BKE	HD-LC2.0U3-WHE
	HD-LCU3-F シリーズ	HD-LC1.0U3-BKF	HD-LC1.0U3-WHF
		HD-LC2.0U3-BKF	HD-LC2.0U3-WHF
	HD-LE-A シリーズ	HD-LE1U3-BA	HD-LE1U3-WA
HD-LE2U3-BA		HD-LE2U3-WA	
I・O DATA (2TB まで)	AVHD-AUTB シリーズ	AVHD-AUTB1	AVHD-AUTB2
		HDCZ-UT1K	HDCZ-UT1W
	HDCZ-UT シリーズ	HDCZ-UT2K	HDCZ-UT2W
		HDCZ-UT1KB	HDCZ-UT1WB
	HDCZ-UTC シリーズ	HDCZ-UT2KB	HDCZ-UT2WB
		HDCZ-UT1KC	HDCZ-UT1WC
	HDCZ-UTC シリーズ	HDCZ-UT2KC	HDCZ-UT2WC

※ 当社が独自に検証したものであり、メーカー様へのお問い合わせはご遠慮ください。

外部機器との接続

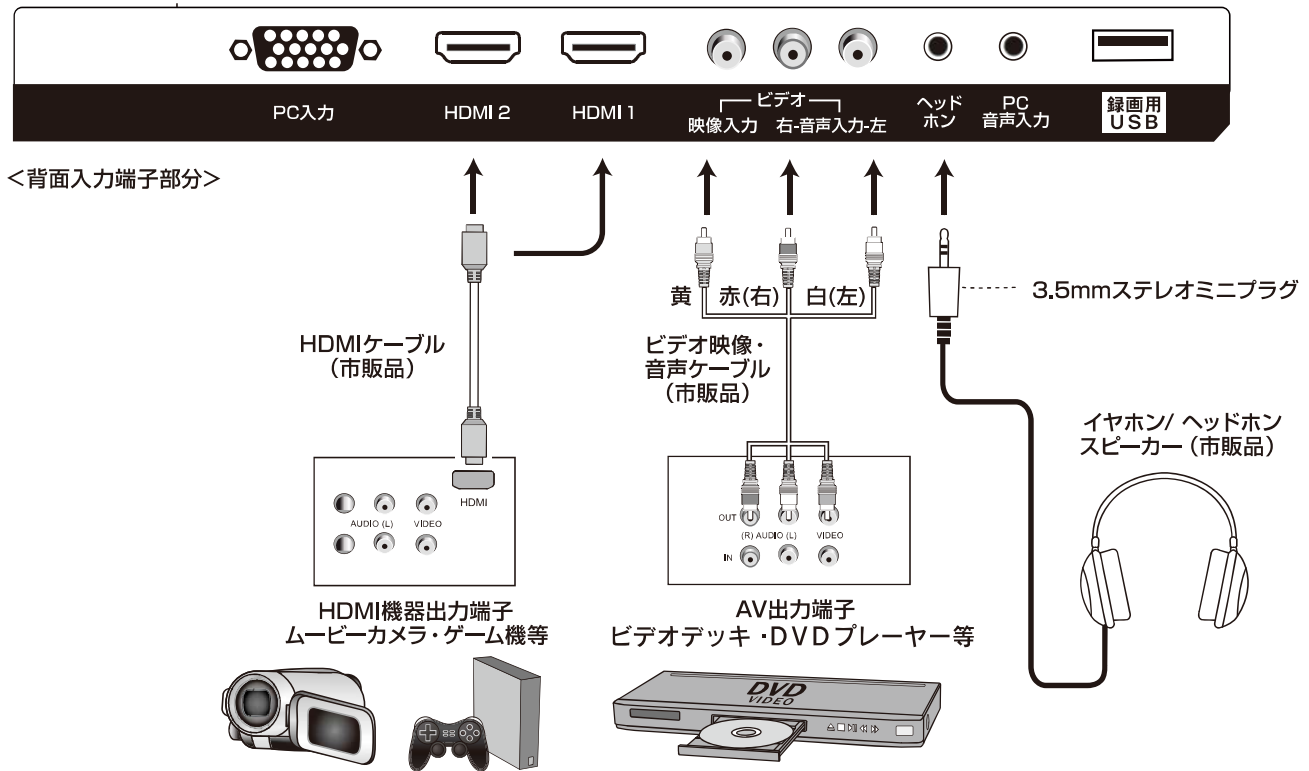
外部機器で再生した映像を本機の画面で視聴することができます。
本体背面の各入力端子と外部機器の出力端子を市販のケーブルで接続してください。
外部機器側の設定に関しては、お使いのプレーヤーなどの取扱説明書をご参照ください。

接続方法



P34

外部機器との接続



※外部機器を接続、取り外しをする際は本機、外部機器ともに電源を切った状態で行なってください。

※背面は機器の種類により異なる場合があります。

※外部入力機器の切り換えを行なう際、信号に合わせて本製品内部で画面調整を行なう為、画面が一瞬ちらつくことがありますが故障ではありません。また切り換え時に少し時間がかかりますが、故障ではありません。

※ノイズが入る場合がありますので、接続機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。

スピーカーやイヤホン・ヘッドホンを接続する

- 1 スピーカー、イヤホン、ヘッドホン（市販品）の端子を本体のヘッドホン端子と接続してください。
- 2 音声を出力することができます。

※スピーカー、イヤホン・ヘッドホン端子の抜き差しは音量を小さくしてから行ってください。

HDMI対応機器を接続する

- 1 HDMIケーブル(市販品)を本体と外部機器に接続してください。
- 3 本体の電源を入れ、入力切換ボタンを押して入力をHDMIに切り換えると、接続機器の出力に切り換えることができます。

(例)HDMI1を選択

入力切換
TV
DVD
PC
HDMI1
HDMI2
AV
USB
⊙ 決定

- 2 HDMIケーブルの接続が完了したら、電源コードのプラグをコンセントに接続してください。
- 4 外部機器の電源を入れて再生を開始してください。

※HDMIケーブルはHDMIの標準技術規格に対応した機器をお使いください。
※PCのHDMIコネクタを使用した表示はサポートしていません。
※本製品と外部機器をHDMIで接続すると、一部の機器で連動動作ができることがありますが、その動作については、保証いたしかねます。

AV機器を接続する

- 1 ビデオ映像・音声ケーブル(市販品)を黄・白・赤の各端子の色に合わせて外部機器と本体に接続してください。
- 3 本体の電源を入れ、入力切換ボタンを押して入力をビデオに切り換えると、接続機器の出力に切り換えることができます。

入力切換
TV
DVD
PC
HDMI1
HDMI2
AV
USB
⊙ 決定

- 2 ビデオ映像・音声ケーブルの接続が完了したら、電源コードのプラグをコンセントに接続してください。
- 4 外部機器の電源を入れて再生を開始してください。

※映像端子と音声端子を逆に接続すると、音声も映像も出力できません。それぞれの端子が正しく接続されているか必ずご確認ください。
※接続する機器の音声出力端子がひとつしかない場合は、白の端子だけを接続してください。この場合、音声は片方のスピーカーからのみ出力されます。

パソコンを接続する

- 1 VGAケーブル(市販品)とパソコン用音声ケーブル(市販品・3.5mmステレオミニプラグ付オーディオケーブル)の各端子を本体とパソコンに接続してください。
- 2 各ケーブルの接続が完了したら、電源コードのプラグをコンセントに接続してください。
- 3 本体の電源を入れ、入力切換ボタンを押して入力をPC入力に切り換えると、パソコンの出力に切り換えることができます。
- 4 パソコンの電源を入れてください。

入力切換
TV
DVD
PC
HDMI1
HDMI2
AV
USB
⊙ 決定

※パソコン側の設定についてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。
※音量の調整はパソコン側でも行ってください。
※本製品の電源を切る際は、先にパソコンの電源を落としてください。
※パソコンと接続するときは機器のグラフィックボードが持つ解像度をご確認ください。
※解像度1024×768以外の信号を入力した場合には、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
(上記に記載した入力信号についても対応しない場合があります)
※一部メーカーのグラフィックボードでは対応できないことがあります。
※ドット欠けにより画面上に赤や緑、青の点が見える場合がありますが、これによりモニター機能が低下することはありません。
※パソコン画面を本機で表示させる場合、何らかのメッセージが表示されることがあります。
メッセージはお使いのパソコンの種類により異なります。詳しくはパソコン側の設定をお確かめください。

故障かも…と思ったら

■トラブルシューティング

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下表で確認してください。それでも症状が改善されない場合はお買い上げの販売店、または弊社サポートセンター (P.38) までお問い合わせください。

症 状	考えられる原因	対処法	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。	P.13
電源が入っているが画面に何も映らない	異なる外部入力モードになっている。	入力切換ボタンを押して入力モードを確認してください。	P.35
	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.12
	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	メニュー画面から「スキャン」を行ってください。	P.14
	リセットが必要となっている。	メニューボタンを押して、メニュー画面から「その他」の「初期化」を行ってください。	P.15
電源が入っているのに操作ができない	電源電圧の急激な変化等で正常な動作をしていない。	電源プラグをコンセントから抜き、1分ほど待ってから改めてコンセントに差し込んで電源を入れてください。	—
突然電源が切れる	「自動電源オフ」が動作している。	「自動電源オフ」をオフにしてください。	P.32
地上デジタル放送が映らない	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.12
	アンテナの向きがずれている。	UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。	P.13 P.15
	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	メニュー画面から「スキャン」を行ってください。	P.14
特定のチャンネルが映らない	アンテナの向き・角度がずれている。	UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。常に受信状態のよくないチャンネルは、市販のブースター（増幅器）を設置することで正常に受信できる場合があります。お近くの電器店にご相談ください。	P.13
地上デジタル放送の映像が乱れる	アンテナの向き・角度がずれている。	UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。	—
	悪天候などにより受信感度が落ちている。 アンテナ線の接続がゆるい、またはプラグ内の芯線が折れたり曲がったりしている。	天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が回復するまでお待ちください。 アンテナ線の接続を確認してください。	— P.13
音声は出るが映像が出ない	「コントラスト」「明るさ」の調整が悪い。	画面設定から「映像モード」で「ユーザー」を選択し調整をしてください。	P.31
	映像入力端子が正しく接続されていない。	外部入力機器を接続している場合は、映像入力端子が正しく接続されているか確認してください。	P.34
録画できない	USB ハードディスクの電源が入っていない。	電源のオンの必要な USB ハードディスクの場合は電源をオンにしてください。	—
	ハードディスクの空き容量が不足	不要な番組を削除してください。	P.19
	録画できない番組や映像ではありませんか。	コピー禁止の番組や外部入力からの映像・音声は録画できません。	P.16
	放送開始時間に変更されている。	録画予約した番組の放送開始時間に変更された場合は録画できません。	P.18
録画した番組が再生されない	本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。		

症 状	考えられる原因	対処法	参照ページ
音が出ない	音量調整が最小になっている。	音量ボタンを押して音量を調整してください。	P.10
	消音状態になっている。	消音ボタンを押して消音を解除してください。	P.10
	音声ケーブルが接続されていない。	外部入力機器の音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。	P.34
画面の映りが悪い	アンテナの向き・角度がずれている。	UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。 アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。	P.13 P.15
	画面の視野角から外れている。	視野角(上下178度/左右178度)の範囲外から見ると、映像が見にくい場合があります。	—
	他のテレビやラジオ、ゲーム機、パソコン、オーディオ、ビデオなどから妨害を受けている。	妨害を受けているものから離してご使用ください。	—
	悪天候などにより受信感度が落ちている。	天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が変わるまでお待ちください。	—
画面の色がおかしい	「映像モード」の調整が悪い。	画面設定から「映像モード」の調整をしてください。	P.31
画面が暗い	「明るさ」の調整が悪い。	画面設定から「映像モード」の調整をしてください。	P.31
リモコンが動作しない	電池の極性が正しく入っていない。	電池の＋を確認し、正しい向きでリモコンに入れてください。	P.11
	電池が消耗している。	2本とも新しい電池に入れ替えて再度確認してください。	
	リモコン受光部近くに障害物がある。	受光部の前から障害物を避け、本機の受光範囲内(受光部より4m・左右30度以内)で使用ください。	
	リモコン受光部に蛍光灯の光など強い照明が当たっている。	受光部を強い光から離してください。	
番組表に何も表示されない	番組表の更新が行われていない。	一定時間ひとつのチャンネルを見ることで、そのチャンネルの番組表を取得することができます。	—
選局できない 番号ボタンがある	チャンネルが割り当てられていない番号を選局している。	チャンネルリスト画面からチャンネルがその番号に割り当てられているか確認してください。	P.15
	チャンネルの切り換えに時間がかかっている。	受信信号を処理する時間上、チャンネルの切り換えに時間がかかる場合があります。	—
DVDの再生が はじまらない	DVDが正しく挿入されていない	DVDディスクの向きを確かめて再度挿入直してください。	P.28 ～ P.29
	ディスクの傷、ゆがみ、汚れなどがついている	DVDディスクの傷や汚れをよく確かめてください。	
	異なる入力モードになっている	入力切換ボタンを押して入力モードを確認してください。	P.26
	本製品で再生できないディスク	ディスクが本製品に対応しているものか、ご確認ください。	
USBハードディスクが 認識されない	ハードディスクが本機に対応していない	電源供給型のもので本機に対応しているハードディスクをご使用ください。	P.16
	ハードディスクが正しく接続されていない	USBケーブルを本体背面下側の録画用USB端子に接続してください。	

※本製品には高度なソフトウェアが組み込まれています。上記のように正常に動作しなくなった時は、一度電源プラグをコンセントから抜いて、約1分後に再度電源プラグを差し込んでください。

※電源オンの時、録画リストや予約リスト、番組表の操作時は内部処理を行っているため、操作の反応が遅い場合があります。

※リモコンの録画ボタンで見ている番組を録画する場合、録画開始まで数秒かかります。

※液晶パネルは0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが、こちらは故障ではありません。

アフターサービス

修理を依頼される前に P.36～P.37 の『故障かも・・・と思ったら』をよくお読みいただき、症状を確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、お買い上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。

■アフターサービスについて

保証書を必ずご確認ください

付属の保証書については、必ず「お買い上げ日」と「販売店名」の記入があることを確かめてからお買い上げ店よりお受け取りください。

また、内容をよくお読みのうえ、製造番号と製品本体裏面の製造番号をお確かめいただき、大切に保管してください。保証期間はご購入日から1カ年です。

保証書を紛失された場合や保証書に「お買い上げ日」と「販売店名」の記入がない場合は保証の対象外となります。ご了承ください。

修理をご依頼される場合

本書の P.36～P.37 の『故障かも・・・と思ったら』に従って症状を確認いただき、それでも症状が改善されない場合は、まず電源プラグを抜いて

お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにご連絡ください。

○保証期間中は保証書の規定に従って、修理させていただきます。

○保証期間を過ぎていたり、または無償修理の対象外のトラブルについては修理可能な場合、ご希望により有償にて修理させていただきます。

<修理を依頼される時にご準備いただきたい内容>

- ・ご住所／ご氏名／お電話番号
- ・製品名／型番／お買い上げ日／お買い上げ店
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

本製品に関するお問い合わせおよび修理に関するお問い合わせ



ネクシオン サポートセンター

TEL 0570-022336

<受付時間> 10:00～17:00（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く）

<住所> 〒339-0011 埼玉県さいたま市岩槻区長宮223番地1

<E-mail> support@nexxion.jp

■個人情報の取扱いについて

弊社ではお客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。



株式会社Freedom

■本製品ならびに本書は、改善の為予告なく変更する場合がございます。

■本書の内容の一部、または全ての無断転載を禁じます。

■本製品の仕様、故障によって生じた直接、間接の損害につきましては当社はその責任を負わないものとします。

■本書に乱丁、落丁があった場合は、お取り換え致します。販売店、または上記サポートセンターにご連絡ください。

製品仕様

品名	DVDプレーヤー内蔵 32V型地上波デジタルハイビジョン液晶テレビ	
型番	FT-A3235DB	
JANコード	4589684381712	
テレビチューナー	地上デジタル放送:○ BS/110度CSデジタル放送:× 電子番組表(EPG):○(6ch*5時間表示/7日分受信) ^{※2} データ放送対応:×	
受信機型サイズ ^{※1}	32V型	
画面寸法	幅 69.8cm 高さ 39.2cm 対角 80.0cm	
画素数	1366(水平) x 768(垂直)	
輝度	200cd/m ²	
アスペクト比	16:9	
視野角(標準値)	上下:178度 / 左右:178度	
音声実用最大出力	10W (5W+5W)	
タイマー機能	自動電源オン/オフ(時間設定)、オフタイマー(10min/20min/30min/60min/90min)	
映像モード	標準/ダイナミック/柔らかい/ユーザー	
HDD録画機能	外付HDD(ハードディスクドライブ) 2TBまで対応	
入出力端子	UHFアンテナ入力端子(地上デジタル放送)×1、AV入力端子(RCA)×1、 HDMI端子×2(Ver1.3準拠)、PC入力端子(D-sub15pin)×1、PC音声入力端子×1、 録画用USB端子×1、USBメモリ入力×1、Ø3.5mmステレオミニジャック×1	
対応ディスク	DVD Video/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/CD/CD-R/CD-RW	
CPRM対応	DVD-R/DVD-RW	
USB端子インターフェース	画像/音楽/動画	
電源	AC100V (50/60Hz)	
消費電力	45W	
待機時消費電力	0.3W	
年間消費電力量(標準時)	68kWh/年 ^{※3}	
省エネ達成率	102%	
動作環境条件	温度 0~40℃/相対湿度 20~80%(結露なきこと)	
本体外形寸法	スタンド取付時	731(W) × 196(D) × 475(H) mm
	本体のみ	731(W) × 87(D) × 437(H) mm
本体質量	約4.8kg	
付属品	リモコン(1)、リモコン用乾電池(2) ^{※4} 、スタンド(2)、スタンド取付用ネジ(4)、 miniB-CASカード(1)、取扱説明書(1)、保証書(1)	
電源コードの長さ	約1.5m	
壁掛け対応	可 (VESA 200mm × 100mm) ネジ穴 M5×10mm	
原産国	中国	

※1 ディスプレイの型は画面寸法を表すものではなく、有効画面の外形対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※2 番組表情報をダウンロードするには多少時間がかかります。

※3 年間消費電力量は、省エネ法に基づいた算定式で算出した一年間に使用する電力量です。

※4 付属品のリモコン用乾電池はリモコンの動作確認用です。

■製品改善の為に予告なく外観、仕様を変更する場合がありますので、ご了承ください。

■本製品にはCATV(ケーブルテレビ)パススルー機能はございません。ご契約されているケーブルテレビ会社にご確認ください。

■本製品はデータ放送には対応していません。そのためdデータ、双方向番組サービス、連動データ放送はご利用になれません。

■HDMIケーブルで外部接続することによって機能する連動・操作機能に対応していません。

■本取扱説明書に記載されている企業名、製品名等は各社の商標または登録商標です。特に注記のない場合でも、これを尊重します。



発売元：株式会社 Freedom

©2021 Freedom Co., Ltd. All right reserved.